

青 梅 市 の 社 会 教 育

令 和 4 年 度 版

青 梅 市 教 育 委 員 会

目 次

第1章	市勢の概要	
1	沿 革	5
2	世帯と人口	6
第2章	社会教育の概要と教育行財政の状況	
1	青梅市教育委員会の教育目標	9
2	青梅市教育委員会の基本方針	9
3	社会教育の沿革	10
4	教育部内 社会教育関係機構・事務分掌	16
5	令和4年度社会教育関係予算および決算の状況	17
6	社会教育関係予算の推移	17
第3章	社会教育課の事業	
1	社会教育委員活動	21
2	青少年委員活動	22
3	行事傷害補償制度	22
4	生涯学習推進本部	22
5	生涯学習推進市民会議	22
6	生涯学習だよりの発行	22
7	生涯学習講師・指導者およびボランティア協力者等人材登録制度	23
8	生涯学習サークル登録団体状況	23
9	青梅市生涯学習まちづくり出前講座	23
10	青少年健全育成事業	25
11	成人式	26
12	生涯学習事業	26
13	学校施設（音楽室）開放	29
14	掌理団体育成事業	29
15	青少年リーダー育成研修会	30
16	国際理解講座	30
17	子ども体験塾事業	30
18	放課後子ども教室	31
19	御岳山ふれあいセンター施設概要	32
20	青梅市文化交流センター（ネッツたまぐーセンター）施設概要	32
21	視聴覚教育事業	33
22	芸術文化事業	35
第4章	文化財保護関係事業	
1	郷土博物館事業	39
2	文化財保護事業	41
第5章	美術館関係事業	
1	美術館運営について	47
2	美術館運営委員会活動	47
3	展示事業	47
4	普及事業	48

5	収集事業	48
6	青梅市美術作品取得基金	49
7	青梅市美術作品選定会議	49
8	収蔵作品貸出	49
9	美術館施設概要	49
第6章	吉川英治記念館事業	
1	吉川英治記念館について	53
2	記念館事業	53
第7章	図書館関係事業	
1	図書館について	57
2	図書館運営協議会の開催	62
3	子ども読書活動推進事業	63
4	西多摩地域図書館広域利用	64
5	図書館施設概要	65
	(社会教育施設配置図)	66
6	図書館の利用状況	67
第8章	社会教育関係委員名簿	
1	教育委員	71
2	社会教育委員	71
3	青少年委員	71
4	生涯学習推進市民会議委員	72
5	放課後子ども教室推進事業運営委員会委員	72
6	文化財保護審議会委員	73
7	文化財保護指導員連絡協議会	73
8	美術館運営委員会委員	73
9	図書館運営協議会委員	74
10	学校施設開放運営委員会委員	74
11	青梅市文化交流センター運営協議会委員	74

第 1 章 市 勢 の 概 要

1 沿 革

東京都心から西方約 50 キロメートルに位置し、西部が秩父多摩甲斐国立公園に含まれる青梅市は、緑豊かな自然と人心の温かさをもつ住み良いまちである。

この地方に人びとが住むようになったのは、市内から旧石器時代の遺物が出土していることから、1 万 5 千年ぐらい前のことであるといわれている。平安時代末期から鎌倉時代にかけて、武蔵御嶽神社や観音寺をはじめとする社寺が建立され、人びとの信仰の対象となった。市内各地に集落ができあがっていったのもこのころである。

中世に入ると平将門の子孫と称する三田氏が台頭し、この地方を支配するようになるが、戦国時代末、小田原北条氏との戦いに敗れ滅亡すると、その後、この地はおよそ 30 年にわたって北条氏の支配下に置かれた。

江戸時代になると付近一帯は幕府の直轄地になり、森下には陣屋がおかれた。江戸への物資輸送のため道路が整備されると、青梅は市場集落として繁栄した。

明治時代、廃藩置県が行われ、明治 5 年に青梅は神奈川県に属した。それまでは多くの村々に分かれていたが、明治 22 年に 1 町 6 村に合併された。さらに明治 26 年からは東京府に編入された。昭和 26 年には青梅町、調布村、霞村が合併して市制を施行し、さらに昭和 30 年には吉野村、三田村、小曾木村、成木村の 4 村を併合して多摩地区の中核都市として発展してきた。

昭和 46 年以来、6 次にわたる総合長期計画を策定し、首都圏における業務核都市にふさわしいまちづくりを総合的に推進してきた。21 世紀を迎え、さまざまな社会変化に直面し、行政課題も多様化、複雑化している中で、新たな時代に対応できるまちづくりを目指し、市民とともに本市の将来像と市政運営の基本的方向を明らかにした「第 6 次総合長期計画」を策定し、この実現を目指してまちづくりを進めている。

(1) 市制施行 昭和 26 年 4 月 1 日 (全国 262 番目、東京都 5 番目)

(2) 位 置 東経 139 度 16 分 30 秒 (市役所におけるもの)

北緯 35 度 47 分 16 秒

海拔 186.6 メートル

(3) 規 模

人 口		面 積	人 口 密 度	人 口 集 中 地 区 人 口	産 業 構 造						
					区 分	第 1 次	第 2 次	第 3 次			
国勢調査	2 年	133,535	103.31 km ²	人	1,292.6	105,591	就業人口	人	633	14,249	39,503
	27 年	137,381		人							
住民登録	5.3.31	130,060	東西 17.2km 南北 9.0km	人	1,259	2 年 国勢調査	%	%	%		
	4.3.31	130,762		人			1.2	26.2	72.6		
令和 4 年度 基準財政需要額	千円 22,521,286		令和 4 年度 基準財政収入額	千円 17,516,795		標 準 財 政 規 模	千円 27,816,882	財政力指数 (単年度)	0.799 (0.778)		

注 住民登録人口には、外国人登録人口を含む。

2 世帯と人口

(1) 最近 10 年間の人口と世帯の推移

年次	世 帯	総 人 口	男	女
26	60,810 世帯	137,833 人	69,049 人	68,784 人
27	61,130 世帯	137,052 人	68,617 人	68,435 人
28	61,897 世帯	136,750 人	68,617 人	68,133 人
29	62,306 世帯	135,986 人	68,258 人	67,728 人
30	62,882 世帯	135,248 人	67,954 人	67,294 人
31	63,142 世帯	134,086 人	67,393 人	66,693 人
R2	63,432 世帯	133,032 人	66,794 人	66,238 人
R3	63,894 世帯	132,145 人	66,357 人	65,788 人
R4	64,324 世帯	131,124 人	65,846 人	65,278 人
R5	64,640 世帯	130,274 人	65,420 人	64,854 人

ア 数値は、毎年1月1日現在の住民登録人口（外国人登録人口含む）による。

イ 昭和26年4月1日 市制施行日人口 36,094 人

ウ 昭和30年4月1日 4村併合時人口 54,754 人

(2) 市民センター管内の世帯と人口

名 称	世 帯	人 口		
		計	男	女
青 梅 市民センター	5,023 世帯	9,994 人	4,933 人	5,061 人
長 淵 〃	9,688 世帯	19,582 人	9,874 人	9,708 人
大 門 〃	9,900 世帯	21,434 人	10,779 人	10,655 人
梅 郷 〃	4,726 世帯	9,952 人	4,946 人	5,006 人
沢 井 〃	1,549 世帯	3,119 人	1,552 人	1,567 人
小曾木 〃	1,769 世帯	3,164 人	1,535 人	1,629 人
成 木 〃	821 世帯	1,512 人	765 人	747 人
東青梅 〃	8,201 世帯	15,260 人	7,522 人	7,738 人
新 町 〃	9,724 世帯	20,381 人	10,670 人	9,711 人
河 辺 〃	8,129 世帯	15,033 人	7,511 人	7,522 人
今 井 〃	5,119 世帯	10,629 人	5,241 人	5,388 人
合 計	64,649 世帯	130,060 人	65,328 人	64,732 人

(R5. 3. 1 現在)

第 2 章 社会教育の概要と教育行財政の状況

1 青梅市教育委員会の教育目標

青梅市の教育は、郷土の歴史と文化を尊重し、文化の継承と豊かな青梅の創造を目指し、平和な国家および社会の形成者として自主的かつ進取の精神にみちた健全な人間の育成と広く国際社会に生きる市民の育成とを期して、行われなければならない。

また、社会や時代の変化に伴う課題をとらえ、将来の展望をもった広い視野に立つ柔軟な発想を基に、未来を担う人間の育成を図ることが重要である。

青梅市教育委員会は、このような考え方に立つとともに、日本国憲法および教育基本法にのっとり、以下の「教育目標」に基づき、学校教育および社会教育を推進する。

～青梅市教育委員会教育目標～

青梅市教育委員会は、子どもたちが、知性、感性、道徳心や体力をはぐくみ、郷土を愛する人間性豊かな市民として成長することを願い、

- 互いの人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間
- 社会の一員としての自覚をもち、勤労と責任を重んじ、社会に貢献しようとする人間
- 自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間

の育成に向けた教育の充実、推進を図る。

また、学校教育および社会教育を充実し、だれもが生涯を通じ、自らの目標を目指して学び、互いに認め、支え合うことができる社会の実現を図る。

そして、教育は活力ある地域の中で、家庭、学校および地域のそれぞれが責任を果たし、連携して行うものであるとの認識に立って、すべての市民が教育に参加することを目指していく。

2 青梅市教育委員会の基本方針

青梅市教育委員会は、「教育目標」を達成するために、以下の「基本方針」に基づき、青梅の特性を生かして、総合的に教育施策を推進する。

(1) 基本方針1 「人権尊重の精神」と「社会貢献の精神」の育成

すべての市民が人権尊重の理念を正しく理解するとともに、思いやりの心や社会生活の基本的ルールを身に付け、協調と責任ある行動をとり、社会に貢献しようとする精神をはぐくむことが求められている。

そのために、人権教育および心の教育を充実するとともに、社会の一員としての自覚や公共心をもち自立した個人を育てる教育を推進する。

(2) 基本方針2 「豊かな個性」と「創造力」の伸長

国際化や高度情報化など社会の変化に対応できるよう、児童・生徒一人一人の思考力、判断力、表現力などの資質・能力を育成することが求められている。

そのために、基礎的・基本的な学力の向上を図り、児童・生徒の個性と創造力を伸ばす教育などを重視するとともに、広く国際社会に生きる市民を育成する教育を推進する。

(3) 基本方針3 生涯学習の推進と社会教育の充実

市民が生涯を通じ、主体的に学習機会を選択して学ぶことができるような生涯学習社会を実現することが求められている。そのために、「青梅市生涯学習推進計画」にもとづいた施策の推進に努めるとともに、学習環境を整備し、「ともに学んで生きるまち」を目指して社会教育の充実を図る。

(4) 基本方針4 文化・芸術の振興

市民が生涯を通じて、文化・芸術に親しむ機会の充実が求められている。

そのために、優れた文化・芸術や貴重な文化財を通じ、市民がひとしく文化を享受し、創造活動ができるよう文化・芸術活動への支援に努める。

(5) 基本方針5 「市民の教育参加の促進」と「主体的な教育行政の推進」

家庭・学校・地域が相互に連携・協力をすることによって、すべての市民の教育参加を進め、教育行政を力強く展開していくことが求められている。

そのために、青梅市の特性を生かした主体的な教育行政を推進するとともに、市民からより信頼される学校づくりに向けて、学校経営の改革を進めていく。

3 社会教育の沿革

(1) 国における取組み

平成15年、中央教育審議会の答申「新しい時代にふさわしい教育基本法と教育振興基本計画の在り方について」において、半世紀の間の社会の大きな変化と国民の意識の変容を踏まえ、新しい時代にふさわしい教育の実現に向け、各教育分野にわたる改革の必要性が謳われている。教育の基本理念として、生涯学習の理念を新たに規定すること、家庭教育の支援、社会教育の振興について規定することが提言された。

中央教育審議会の答申を受け、平成18年12月に、教育基本法が改正され、「生涯学習の理念」（第3条）が規定されるとともに、「社会教育第12条」の条文に加え、「家庭教育（第10条）」「幼児期の教育（第11条）」「学校、家庭及び地域住民等の相互の連携教育（第13条）」へと拡大された。

平成20年2月、中央教育審議会の答申「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について～知の循環型社会の構築を目指して～」では、「国民一人ひとりの生涯を通じた学習への支援」と「社会全体の教育力の向上」の2つを柱として、具体的な方策が提言された。社会教育施設等を活用した多様な学習の場の充実や、学校を地域の拠点として社会全体で支援する取り組みの推進等が提言されている。

平成20年6月には、社会教育法が改正され、教育基本法の改正を踏まえた規定の整備が行われた。

平成25年4月、中央教育審議会の第2期教育振興基本計画の答申の中で、わが国では「自立・協働・創造に向けた一人一人の主体的な学び」が求められており、一人一人が生涯にわたって能動的に学び続け、様々な力を養い、その成果を社会に生かしていくことが可能な生涯学習社会を目指していく必要があることが提言され、そのための4つ基本的方向性が示された。

平成27年4月の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」の施行により、従前の教育委員長と教育長を一本化した新「教育長」の設置、「総合教育会議」の設置や教育に関する「大綱」を首長が策定すること等を内容とする、教育委員会制度の改正が行われた。

平成27年12月、中央教育審議会の答申「新しい時代の教育や地方創生の実現に向けた学校と地域の連携・協働の在り方について」において、教育改革や地方創生の動向を踏まえた、学校と地域の連携・協働を一層推進するための方策として、社会教育の体制である、地域住民や団体等のネットワーク化等により学校と協働活動を推進する「地域学校協働本部」の整備が提言された。

平成28年5月、中央教育審議会の答申「個人の能力と可能性を開花させ、全員参加による課題解決社会を実現するための教育の多様化と質保証の在り方について」において、生涯学習による可能性の拡大、自己実現及び社会貢献・地域課題解決に向けた環境整備が提言された。

平成29年3月、「次世代の学校・地域」創生プランを踏まえ、社会教育法が改正された。

平成29年4月、各教育委員会がそれぞれの地域や学校の特色を生かしつつ、円滑かつ効果的に地域学校協働活動を推進していくことができるよう、「地域学校協働活動の推進に向けたガイドライン」を策定した。

平成30年4月、第四次「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」が示された。

平成30年9月、放課後児童クラブの待機児童の早期解消、放課後児童クラブと放課後子供教室の一体的な実施の推進等による全ての児童の安全・安心な居場所の確保を図ること等を内容とした「新・放課後子ども総合プラン」を厚生労働省と共同で策定した。

平成30年12月、中央教育審議会の答申「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」において、今後の地域における社会教育および社会教育施設の在り方が示され、「社会教育」を基盤とした、人づくり・つながりづくり・地域づくりに向けて、学びへの参加のきっかけづくりの推進、多様な主体との連携・協働の推進、多様な人材の幅広い活躍の促進、社会教

育の基盤整備と多様な資金調達手法の活用等が提示された。

平成 31 年 1 月、中央教育審議会の答申「新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のための学校における働き方改革に関する総合的な方策について」では、社会教育施設や社会教育関係団体と学校の連携の重要性が示された。

(2) 東京都における取組み

平成 17 年 1 月、東京都生涯学習審議会の答申「子ども・若者の『次世代を担う力』をはぐくむための教育施策のあり方について～『地域教育プラットフォーム』構想を推進するための教育行政の役割」において、学校教育と社会教育が連携し、学校・家庭・地域の教育力の再構築を目指した教育施策のあり方が示された。

平成 20 年 5 月策定の「東京都教育ビジョン（第 2 次）」においては、目指すべき教育の柱として「社会全体で子どもの教育に取り組むこと」と「生きる力をはぐくむ教育を推進すること」を挙げ、取り組むべき施策が示された。

同年 12 月、東京都生涯学習審議会の答申「東京都における『地域教育』を振興するための教育行政のあり方について—社会教育の役割を中心に—」では、子どもから大人まであらゆる層の教育参加を通じて課題解決に取り組むという地域教育行政の基本スタンスが示されている。

平成 25 年 4 月、「東京都教育ビジョン（第 3 次）」において、「社会全体で子供の「知」「徳」「体」を育み、グローバル化の進展など変化の激しい時代における、自ら学び考え行動する力や社会の発展に主体的に貢献する力を培う」ことが基本理念として示された。

平成 27 年 11 月の「東京都教育施策大綱」策定を受け、「東京都教育ビジョン（第 3 次）」の一部改定を示し、「知」「徳」「体」「学校」「家庭」「地域・社会」の 6 つの柱に、「オリンピック・パラリンピック教育」を柱の 1 つに加え、7 つの柱の構成とした。

平成 28 年 2 月、東京都生涯学習審議会の「今後の教育環境の変化に対応した地域教育の推進方法について—地域教育プラットフォーム構想の新たな展開—」において、地域教育プラットフォーム構想の到達点と課題を押さえた今後の展開と、保護者や地域住民、企業、NPO 等社会を構成する様々な主体が果たせる役割について、教育改革の動向を踏まえた方向性が示された。

平成 29 年 1 月、平成 32 年度までを対象として策定された新たな「東京都教育施策大綱」では、東京都の将来像と目指すべき子供たちの姿を挙げ、取り組むべき事項についての方針が示された。

平成 31 年 3 月、「東京都教育ビジョン（第 4 次）」において、「子供の「知」「徳」「体」を育み、社会の持続的な発展に貢献する力を培う」「学校、家庭、地域・社会が相互に連携・協力して子供を育てる」ことが基本的な方針として示された。

(3) 青梅市における取組み

ア 昭和 34 年度～令和 3 年度

昭和 34 年度	社会教育委員制度発足。10 人の委員による社会教育委員会議がスタート
昭和 36 年度	婦人学級を足場に初の自主グループが誕生
昭和 38 年度	青年学級が全国優良青年学級として文部大臣表彰を受ける
昭和 41 年度	市民会館が開館
昭和 46 年度	社会教育課に体育係を設置 教育センターが完成。社会教育課を市民会館から移設
昭和 47 年度	大門図書館が開館
昭和 48 年度	郷土博物館が完成。博物館管理係を設置
昭和 55 年度	総合体育館が開館。社会教育課体育係が体育課として独立
昭和 57 年度	青少年の音楽活動や婦人活動の行える婦人青少年研修センターが釜の淵市民館に完成。芸術文化奨励制度が発足
昭和 59 年度	市立美術館が開館
昭和 60 年度	河辺市民センター、新町市民センターが落成 総合体育館運営委員会を廃し、スポーツ振興法にもとづくスポーツ振興審議会を設置
昭和 62 年度	都立青梅図書館が廃止、改修し青梅市中央図書館として開館
平成 元 年度	中央図書館と市内 9 市民センター図書館のオンライン化が完了

平成 5 年度	多摩東京移管 100 周年にあたり、記念事業を実施
平成 6 年度	青梅市女性問題協議会を設置
平成 7 年度	男女共同参画社会の実現を目指す推進計画策定 市民センター建設担当を設置 青梅市史（上巻・下巻）発刊
平成 8 年度	市民センターの通年開館を開始 「青梅市生涯学習推進本部」を設置
平成 9 年度	生涯学習推進の目標や基本方針、推進体制を内容とする「青梅市生涯学習推進計画」を策定 生涯学習人材登録制度開始、人材ガイドブックを発行 旧第九・第十小学校をそれぞれ上成木ふれあいセンター、北小曾木ふれあいセンターとして開館
平成 10 年度	青梅市生涯学習推進市民会議を設置 青梅市生涯学習推進計画を策定 今井市民センター体育館完成
平成 12 年度	文部科学省の委嘱事業「おうめ子ども情報局」を教育センター内に開設 青少年の健全育成事業「親子ふれあい綱引き大会」開始 今井市民センター完成
平成 13 年度	教育センター内に生涯学習室（まなびいルーム）を開設 教育センターおよび沢井市民センター内にパソコン教室を設置 市制 50 周年を記念し、「NHK 夏期巡回ラジオ体操」「東京ポップスオーケストラ公演」など、さまざまな事業を実施。
平成 14 年度	完全学校週 5 日制実施にともない、学校開放講座・ジュニアスポーツ教室を開設 市内小・中学生の美術館観覧料の免除（土曜日）を実施 IT 講習会・IT サポート事業を開始 「親子ふれあい綱引き大会」全市大会を実施
平成 15 年度	青梅市生涯学習まちづくり出前講座を開始 社会教育施設予約管理システムの第 1 次導入 旧都立青梅青年の家を青梅市永山ふれあいセンターとして改修、開設
平成 16 年度	パソコン・携帯電話・利用者端末（キオスク端末）による社会教育施設予約を開始 今井小学校、第二中学校の音楽室を新たな学校開放の場として提供 市立美術館開館 20 周年 「青梅市子ども読書活動推進計画」を策定。インターネットによる蔵書予約サービスを開始 「青梅市スポーツ振興計画」を策定
平成 17 年度	釜の淵市民館および 4 か所のふれあいセンターについて平成 18 年 4 月 1 日から指定管理者による管理を導入するための基本協定を締結 武蔵御嶽神社境内の整備事業などに文化財保存事業費を交付 「青梅市スポーツ振興計画」にもとづき総合型地域スポーツクラブ設立に向けた啓発を実施
平成 18 年度	東京都市長会政策提言にもとづく子ども体験塾事業実施 釜の淵市民館および 4 か所のふれあいセンターにおいて指定管理者による管理運営開始
平成 19 年度	子どもたちの安全・安心な活動拠点を提供する「放課後子ども教室」モデル事業開始 社会教育委員会において、家庭教育に関する提言「家庭のスローガン」策定 河辺駅北口に新しい中央図書館を開館

平成 20 年度	市民センター改革により市民センターが市長部局へ移行 「第四次青梅市生涯学習推進計画」（平成 21 年度～平成 25 年度）策定 中央図書館を本館とし、市民センター設置の図書館と青梅図書館（旧中央図書館）を分館に位置付け 美術館で、多摩秀作美術展にかわる公募展「ビエンナーレ OME 2009」を開催 「第二次青梅市子ども読書活動推進計画」策定
平成 21 年度	青梅市社会教育委員会に青梅市における社会教育のあり方について、諮問・答申 放課後子ども教室を本実施 中央図書館入館者数 100 万人を達成 まるとアート支援事業開始
平成 22 年度	青梅市教育センターの廃止に伴い、教育センター内の業務が各施設に移転 スポーツに関する事務を市長が管理、執行となる 文化課を創設 施設の使用料改定および減免規定の改正 東日本大震災の影響に伴う計画停電の対応として施設利用を一部中止
平成 23 年度	市制 60 周年を記念して、特別展や文学講演会を実施 中央図書館来館者数 200 万人を達成
平成 24 年度	青梅市の名誉市民、故吉川英治氏の没後 50 周年を記念した講演会を実施 老朽化と利用者減少に伴い上成木ふれあいセンターを閉鎖 中央図書館来館者数 300 万人を達成
平成 25 年度	「第五次青梅市生涯学習推進計画」（平成 26 年度～平成 30 年度）策定 「第三次青梅市子ども読書活動推進計画」策定
平成 26 年度	埼玉県飯能市立図書館と相互利用を開始
平成 27 年度	老朽化と利用者減少に伴い北小曾木ふれあいセンターを閉鎖 「青梅市図書館基本計画」策定 埼玉県入間市立図書館と相互利用を開始 図書館の効果的・効率的な管理運営を図るため、3月31日をもって東青梅図書館および河辺図書館を廃止
平成 28 年度	施設の老朽化により青梅市民会館を閉鎖 青梅市新生涯学習施設（仮称）建設に向けて、基本計画に着手 中央図書館および9か所の分館図書館に指定管理者制度を導入 中央図書館来館者数 500 万人を達成
平成 29 年度	青梅市新生涯学習施設（仮称）の建設に向けて、青梅市民会館解体に着手
平成 30 年度	「第六次青梅市生涯学習推進計画」（令和元（平成 31）年度～令和 5 年度）策定 青梅市文化交流センター（青梅市新生涯学習施設（仮称））の建設および開館準備 「第四次青梅市子ども読書活動推進計画」（令和元（平成 31）年度～令和 5 年度）策定 小・中学校全校に学校司書を配置し、学校図書館運営支援を実施
令和元年度 (平成 31 年度)	青梅市文化交流センターが開館 青梅市公共施設再編計画にもとづき、青梅市永山ふれあいセンターおよび青梅市釜の淵市民館を閉鎖 放課後子ども教室が東小学校を除くすべての小学校で開設完了
令和 2 年度	青梅市吉川英治記念館が開館 「青梅市図書館基本計画」（令和 3 年度～令和 7 年度）策定
令和 3 年度	中止した「令和 3 年成人式」に代わり、「令和 3 年成人を祝う会」を開催 旧吉野家住宅の屋根葺き替え工事を実施（令和 3・4 年度の 2 か年事業）

イ 令和4年度重点事業

(ア) 生涯学習の推進と社会教育の充実

○ 生涯学習の推進

・生涯学習まちづくり出前講座の実施

「青梅市生涯学習まちづくり出前講座実施規則」にもとづき、市民の市政に関する理解を深めるとともに、行政全体で生涯学習を推進し、市民によるまちづくりの推進に寄与することを目的に、市の施策の説明や市が保有する情報などの内容を市民のもとに出向いて提供する講座を実施した。

・生涯学習フェスティバル・釜の淵新緑祭の開催

市民の生涯学習の振興を図り、「生涯学習フェスティバル～釜の淵新緑祭 2022～」と題し、生涯学習活動を実践している団体に幅広く参加を呼びかけ、学習成果の発表の場として、また各課の生涯学習関連事業と連携した各種のイベントを企画した。

○ 生涯学習の環境整備

・生涯学習情報の提供（ガイドブック等の発行、ホームページへの掲載）

市民にさまざまな生涯学習の機会や場を提供するため、市内や近隣市町村で行われる催し物、文化・スポーツ活動を行っている団体・サークルの紹介等の情報を載せた、「生涯学習だより」を発行するとともに、教育委員会のホームページに掲載した。

○ 青少年の体験活動の充実

・体験教室の推進

子どもたちが様々な体験を通して学ぶことの大切さを鑑み、農業体験や文化体験など各種体験講座を実施した。

・青少年リーダーの育成

青少年リーダー育成研修会を実施し、小学生から高校生の異年齢集団の団体活動、野外での様々な体験活動を通じて、自主性や社会性等を養い、地域活動および学校生活におけるリーダーとしての資質向上を図った。

○ 家庭教育への支援

・家庭教育講演会の実施

すべての教育の出発点である家庭教育支援の一環として、子どもの健康、こころの育成などを内容とする講演会を開催した。

○ 地域における健全育成の推進

・放課後子ども教室推進事業の実施

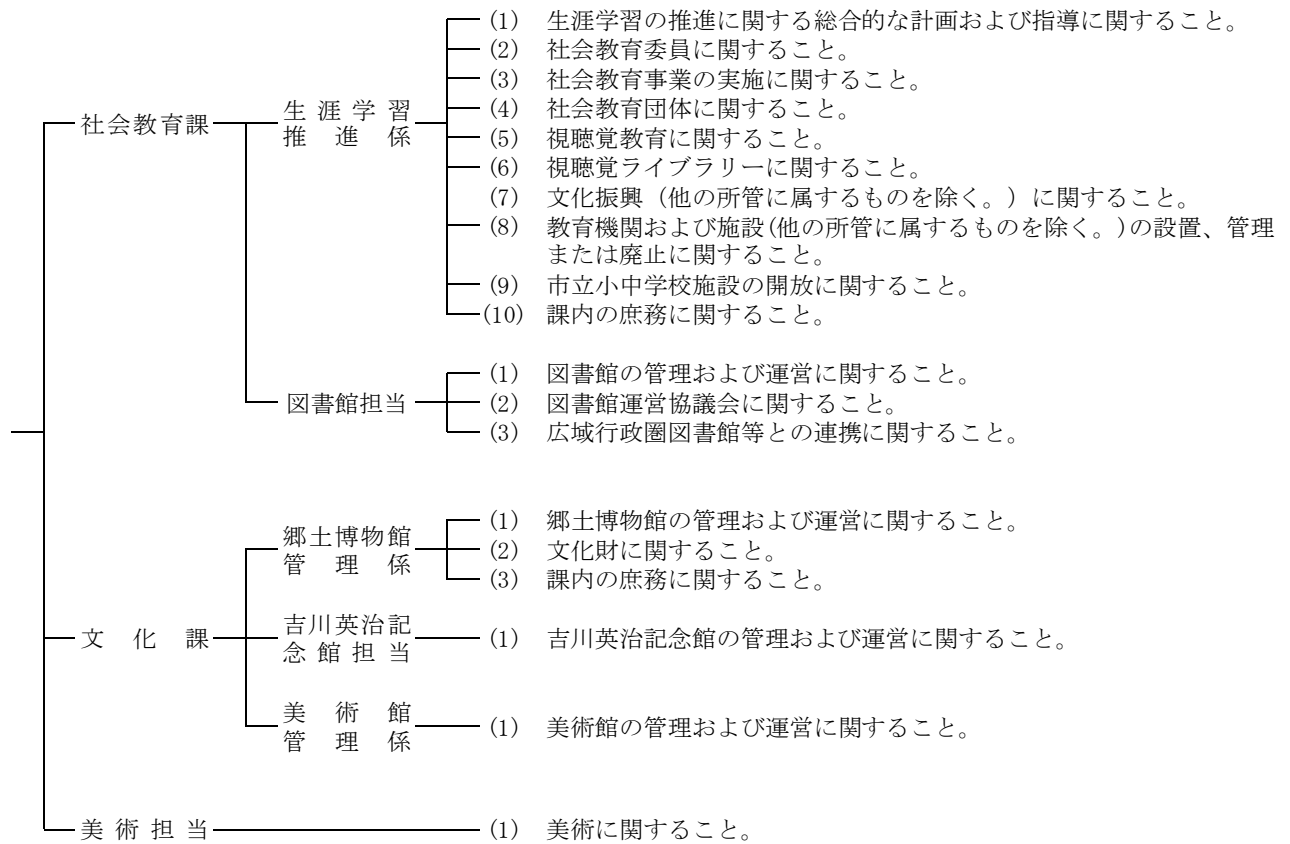
放課後の子どもの安全・安心な居場所づくりとして、地域の方々の参画を得て、放課後子ども教室を第一小学校、第二小学校、第三小学校、第四小学校、第五小学校、第六小学校、第七小学校、成木小学校、河辺小学校、新町小学校、霞台小学校、友田小学校、今井小学校、若草小学校、藤橋小学校、吹上小学校の16校で実施した。

(イ) 文化・芸術の振興

- 文化財の保護・普及
 - ・指定文化財保存事業費補助事業
貴重な文化財を保存、修理して後世に伝えるため、国宝「赤糸威鎧」、重要文化財「紫裾濃鎧」および重要文化財「木造千手観音立像」の保存修理事業等に対し、補助金を交付した。
 - ・埋蔵文化財調査委託事業
開発等に先駆けた埋蔵文化財の記録保存のための発掘調査を実施した。
 - ・旧吉野家住宅整備事業
都指定有形文化財「旧吉野家住宅」の屋根葺き替え工事（令和3年度・令和4年度の2か年事業）を実施した。
- 芸術活動の振興
 - ・文化団体の育成・支援
文化団体連盟等の発表の場の提供および文化、芸術の向上を図るため、市内外各施設を会場として芸術文化祭を開催した。
 - ・特別展の開催
特別展「没後2年 栗原一郎展」を開催した。
特別展「ふる里の心を描き続けて55年 原田泰治の世界」を開催した。
 - ・館蔵企画展の開催
館蔵企画展「没後30年 藤本能道展」を開催した。
館蔵企画展「共通点を探せ!! あなたのお気に入りは何だ？」を開催した。
- 文化活動の振興
 - ・アートによるまちづくり推進事業第1弾
子どもから大人まで身近な環境で一緒にアートに触れる機会を提供することを目的として、東京交響楽団によるアンサンブルコンサートを2部制で実施した。第1部は0歳から小学校低学年までの子と保護者を対象に、第2部は小学生から大人までを対象に、全世代が楽しめる内容を展開した。
また、ネットたまぐーセンター文化祭「あそびばアート2022」の中で、ワークショップ「誰も見たことのない生き物をつくろう」を実施した。
 - ・文化レガシー事業
東京で開催されたオリンピック・パラリンピックをきっかけに、改めて文化の素晴らしさを市民の方々に享受することを目的として、文化ワークショップと文化キャラバンを実施した。
文化ワークショップは、「スポーツDAY青梅2022」の中で実施した。
また、文化キャラバンでは、竹をテーマにプロのアーティストによる文化体験プログラムを市内4地域（青梅・大門・梅郷・新町）で実施した。
- 青梅市吉川英治記念館の運営
 - ・年4回の季節展示などの事業を実施した。
- 読書活動の推進
 - ・第四次青梅市子ども読書活動推進計画の推進
「第四次青梅市子ども読書活動推進計画」にもとづき、児童書の充実、再利用図書展示会、全小学校の1年生に図書館カードの作成を実施した。新型コロナウイルス感染症の影響のため、おはなし会、学校連携推進重点校事業、図書館を使った調べる学習コンクールなどについては、感染状況を考慮しながら実施した。
 - ・学校との連携
小・中学校全校に学校司書を配置し、学校図書館運営支援を実施した。

4 教育部内 社会教育関係機構・事務分掌

5.3.31現在



		課長職	係長職	一般職	左職のうち			司書有資格者
					社会教育主事	社会教育主事補	学芸員	
社会教育課	課長職	1						0
	生涯学習推進係		1	6	1	0		
	図書館担当		1	0				1
文化課	課長職	1					1	
	郷土博物館管理係		1	4			4	
	吉川英治記念館担当主査 (郷土博物館管理係長と兼務のため内数)		(1)	0			0	
	美術館管理係		1	2			0	
美術担当	課長職	1					1	
	計	3	4	12	1	0	6	1

5 令和4年度社会教育関係予算および決算の状況

(単位：円)

款 項 目	当 初 予 算 額	予 算 現 額	支 出 済 額
一 般 会 計 総 額	53,400,000,000	64,063,395,188	58,959,941,452
教 育 費	4,936,712,000	8,134,852,980	6,081,408,592
社 会 教 育 費	828,053,000	855,952,200	829,916,937
1 社 会 教 育 費	113,946,000	112,786,000	106,177,587
2 文 化 事 業 費	2,299,000	2,299,000	2,174,843
3 郷 土 博 物 館 費	114,956,000	120,769,000	116,448,202
4 美 術 館 費	74,989,000	79,265,000	74,999,612
5 吉川英治記念館費	37,714,000	38,600,000	37,332,711
6 図 書 館 費	441,186,000	456,067,000	448,656,754
7 文化交流センター費	42,963,000	46,166,200	44,127,228

6 社会教育関係予算の推移

(単位：千円)

区 分 \ 年 度		平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4
一般 会計	当 初 予 算	50,200,000	50,400,000	51,300,000	51,700,000	53,400,000
	予算現額 (A)	51,889,975	53,030,367	70,699,501	63,086,036	64,063,395
教 育 費 (B) 【 予 算 現 額 】		5,764,978	5,072,083	7,862,337	7,422,685	8,134,853
(B) ÷ (A) × 100		11.1%	9.6%	11.1%	11.8%	12.7%
社 会 教 育 費 (C) 【 予 算 現 額 】		2,084,163	846,559	819,217	788,033	855,952
(C) ÷ (B) × 100		36.2%	16.7%	10.4%	10.6%	10.5%

第 3 章 社 会 教 育 課 の 事 業

1 社会教育委員活動

社会教育委員は、社会教育法の規定にもとづいて教育委員会から委嘱をうけ、その諮問機関として定員 10 人をもって社会教育に関する助言、意見具申などを行っている。

月例定例会での委員相互の情報交換のほか、東京都市町村社会教育委員連絡協議会のブロック研修会の開催、関東甲信越静社会教育研究大会など社会教育に関する各種研修に積極的に参加した。また、芸術文化奨励賞表彰候補者などを審議し、社会教育行政の推進を図った。

(1) 社会教育委員会議開催回数 10回

(2) 東京都市町村社会教育委員連絡協議会

ア 拡大役員会 3回 理事会 2回

イ ブロック研修会

(単位：人)

期 日	ブロック	内 容	テ ー マ	会 場	参加者
10.29	第1ブロック	ワークショップ	みんなで「学ぶ・楽しむ・つながる」社会教育をめざして	福 生 市 もくせい会館	5

ウ 交流大会

期 日	内 容	テ ー マ	会 場	参加者
12.10	各ブロック研修会 実施報告等	市民のニーズを活かす・つなげる社会教育 ～対話からつくろう これからの「学び」～	昭 島 市 昭島市公民館 小ホール	3

(3) 関東甲信越静社会教育研究大会

期 日	内 容	スローガン	会 場	参加者
11.10	講演会・トーク セッション等	人を結ぶ これからの社会教育 ～語ろう 甲斐の国やまなしで～	山 梨 県 甲 府 市 甲府市総合市民会館	6

2 青少年委員活動

青少年委員は、青少年の余暇指導や青少年団体の育成、指導者に対する援助などを教育委員会から委嘱され実践活動を通じて行っている。

事業の企画、委員相互の連絡調整、情報交換を図るため青少年委員協議会を組織し、月例定例会での情報交換のほか事業部会、研修部会、広報部会の三つの部会を編成して、自主事業や青少年委員だよりの発行に機能的に対応している。

委員の活動としては、各地区のジュニアリーダー講習会およびジュニアキャンプなどの指導、また協議会としては、自主事業として「ます釣りにチャレンジ2022」「集まれおうめっ子！2022 木こりの巻」を行った。

(1) 青少年委員協議会開催回数 12回

(2) 研修会

ア 委員研修

(単位：人)

期日	事業名	会場	参加者
1.15	管内研修	成木の森	12

イ 第2ブロック研修

(単位：人)

期日	事業名	会場	参加者
9.24	PA並びに各自治体の活動報告	文化交流センター	58

(3) 自主事業

(単位：人)

期日	事業名	会場	参加者
5.15	ます釣りにチャレンジ2022	成木市民センターほか	19
11.20	集まれおうめっ子！2022 木こりの巻	成木の森	5

3 行事傷害補償制度

社会教育課が主催する各種行事中の事故等による傷害を補償するため、前年度に引き続き公民館総合補償制度の行事傷害補償制度に加入した。

保険適用件数 0件

4 生涯学習推進本部

青梅市生涯学習推進本部会議開催回数 2回

5 生涯学習推進市民会議

生涯学習推進市民会議開催回数 3回

6 生涯学習だよりの発行

生涯学習だよりを年4回、各1,200部ずつ発行し、市内外の学習事業や催し物の周知を図った。

7 生涯学習講師・指導者およびボランティア協力者等人材登録制度

登録者数

(単位：人、団体)

体 系	文 化 系	体 育 系	合 計
個 人	29	6	35
団 体	1	0	1

8 生涯学習サークル登録団体状況

(単位：団体)

文 化 系	体 育 系	合 計
83	28	111

9 青梅市生涯学習まちづくり出前講座

生涯学習の一助として、市職員や関係機関職員が講師となり市民のところに向いて市の施策や情報および技術的知識等を生かした講座を実施した。

(単位：人)

日 程	講 座 名	担当課・部署	受 講 団 体 名	参加者
6.23	見直そう！正しい分別とごみ減量・リサイクル	清掃リサイクル課	小曾木老壮大学	26
7.8	学ぼう！ごみ減量につながる分別方法	清掃リサイクル課	青梅市立第一小学校	52
7.14	楽しく健康アップ！体力アップ！「健康体操教室」	スポーツ推進課(総合体育館)	畑中軽体操クラブ	22
7.24	青梅市の防災対策(地震・風水害)～自助・共助・公助～	防災課	黒沢2丁目第1自治会	10
9.6	「児童虐待防止」研修会	子ども家庭支援課	第2地区民生児童委員協議会	30
9.9	見どころいっぱい、青梅市の観光について	商工観光課	青梅市立新町中学校	150
9.12	見どころいっぱい、青梅市の観光について	商工観光課	青梅市立霞台小学校	60
9.25	青梅市の防災対策(地震・風水害)～自助・共助・公助～	防災課	木野下自治会	15
10.15	地域防災における中学生の役割	防災課	青梅市立泉中学校	128
10.20	市の台所事情をのぞいてみよう！～青梅市の財政状況について～	財政課	小曾木老壮大学	26
10.25	青梅市立総合病院新病院建設について	新病院建設室	下師岡長寿会	33
10.28	食育講座～食からの健康づくり～、健診結果の活かし方	健康課	わかくさ会	28
11.4	みんなで支える老後の安心 介護保険～介護保険制度についてお知らせします～	介護保険課	梨の木むつみ会	33
11.10	青梅市子ども家庭支援事業の現状と支援の実情	子ども家庭支援課	子育て支援研究部会	28
11.11	楽しく健康アップ！体力アップ！「健康体操教室」	スポーツ推進課(総合体育館)	根ヶ布あいあいクラブ	16
11.12	知っておきたい！～後期高齢者医療制度について～	保険年金課	谷野和楽会	45
11.15	聞いて！知って！だまされない！～市民生活を守る消費者相談～	市民安全課	河辺老壮大学	50

日程	講座名	担当課・部署	受講団体名	参加者
11. 18	知っておきたい！～後期高齢者医療制度について～	保険年金課	クラブ錦秋会	18
11. 22	選挙について考えよう！	選挙管理委員会事務局	東京都立青梅総合高等学校	217
12. 13	借りる？借りない？あなたは大丈夫？知っておきたいお金の話（若者編）	関東財務局東京財務事務所	東京都立青梅総合高等学校	218
12. 18	教えます！ボランティア活動の第一歩	市民活動推進課	株式会社フクシ・エンタープライズ	12
12. 19	交通安全教室	警視庁青梅警察署	東京都立青梅総合高等学校定時制課程	110
1. 17	見どころいっぱい、青梅市の観光について	商工観光課	青梅市立第三小学校	114
1. 24	青梅市の防災対策（地震・風水害）～自助・共助・公助～	防災課	青梅市シルバー人材センター	30
1. 26	選挙について考えよう！	社会教育課	青梅市立成木小学校	8
1. 27	楽しく健康アップ！体力アップ！「健康体操教室」	スポーツ推進課（総合体育館）	青梅老壮大学	20
1. 27	青梅歴史物語	文化課（郷土博物館）	和楽路会	60
1. 29	青梅市障がい者差別解消条例と多様性を認め合うまちをめざして	障がい者福祉課	青梅市手話サークル	25
1. 29	青梅市の防災対策（地震・風水害）～自助・共助・公助～	防災課	木野下自治会	20
2. 14	青梅歴史物語	文化課（郷土博物館）	青梅老壮大学	40
2. 16	青梅歴史物語	文化課（郷土博物館）	小曾木老壮大学	30
3. 9	青梅市の防災対策（地震・風水害）～自助・共助・公助～	防災課	社会福祉法人青梅市社会福祉協議会	27
3. 17	青梅市の防災対策（地震・風水害）～自助・共助・公助～	防災課	青梅ボランティア・市民活動センター	14
3. 20	骨を丈夫に、骨粗しょう症を予防しましょう	健康課	なんでもサロンあずま	14
3. 24	青梅市の防災対策（地震・風水害）～自助・共助・公助～	防災課	社会福祉法人青梅市社会福祉協議会	19
計	35 講座	18 部署	29 団体	1, 748

10 青少年健全育成事業

備品貸出状況

(単位：個、回)

品名	保有数	使用回数				計
		市	小・中学校	子ども会	その他	
キャンプ用テント	14	2			4	6
タープテント	11	43			32	75
シュラフ	15				10	10
飯ごう	24				2	2
ランタン	5				1	1
調理セット	8				8	8
コッヘルセット	5				2	2
チタンクッカー	大	8				
	中	9				
キャンプナベ (おたま付)	9					
クーラーボックス	5	9			3	12
ジャグクーラー	4	4				4
キャンピングテーブルチェアー	7					
グリドル (鉄板)	5					
水切りかご	10					
綿菓子機	3	2			8	10
ポップコーン機	3	2			8	10
かき氷機	3				5	5
臼	1				1	1
杵	大	1				
	小	2			2	2
蒸し器 (セッター)	2					
寸胴ナベ	大	5	1			1
	中	5	1		2	3
ゼッケン	2					
ワイヤレスアンプ	4	45			7	52
双眼鏡	6					
スポッティングスコープ	2					
天体望遠鏡	屈折	4				
	反射	4				
カメラ	14	14				14
集会用テント	大	1	1			1
	小	1	1			1
移動用拡声器関連機器	1	2				2
携帯型簡易無線機 (スタンダード)	13	192	4		51	247
携帯用強力ライト	5					
蛍光灯付懐中電灯	5					
発電機	1	1				1
紅白幕	4	4				4
マイクスタンド	4	8				8
コードリール	4	19				19
オリエンテーリングセット	1	6				6
合計		357	4		146	507

11 成人式

令和5年成人の日 青梅市二十歳を祝う会

(単位：人)

期日	対象者数	出席者数	対象者生年月日	会場
1.9	1,280	933	H14.4.2～H15.4.1	総合体育館

式典終了後、タイムカプセル収納作品を該当者に返還した。作品は新成人のうち市内の小学校を卒業した者が、小学4年生のときに作成した絵・作文などで、教育委員会で保管していたもの。

12 生涯学習事業

(1) 乳幼児教育・家庭教育の充実

(単位：人)

期日	事業名	講師等	会場	延受講者数
7.9	家庭教育講演会 子どもとネット・スマホとの適切な関わり方～SNS・ゲーム依存の実態とその予防・対応をどのようにおこなうか～	豊田 充 崇	受講者自宅 (オンライン講演会)	23
9.3	家庭教育講演会 子どもの未来につながるお金の教育	あんびるえつこ	市役所	24
2.5	(公財) 青梅佐藤財団共催事業 キッズ☆体験教室 むかし食育体験～親子で楽しく味噌づくり～	青梅食育クラブ	(公財) 東京都 農林水産振興 財団青梅庁舎	25
1.29	家庭教育講演会 悩んでいませんか？いまだきの思春期の子ども～親と子のすれちがいをなくそう～	高木 紀子	市役所	20

(2) 豊かに生きるための学習機会の充実

(単位：人)

期日	事業名	講師等	会場	延受講者数
4.13～3.8 (全12回)	(公財) 青梅佐藤財団共催事業 渡邊學而の名曲へのお誘い	渡邊 學而	文化交流 センター	623
4.9	(公財) 青梅佐藤財団共催事業 神津善行と鈴木直樹とスィングエース・オーケストラによるスィングの饗宴 グレンミラーからベニー・グッドマンまで	神津 善行 鈴木 直樹 スィングエース・オーケストラ	羽村市生涯 学習センター ゆとろぎ	380
5.14	(公財) 青梅佐藤財団共催事業 第12回国立音楽大学オーケストラ演奏会	国立音楽大学 オーケストラ	羽村市生涯 学習センター ゆとろぎ	338
6.1	ウクライナ支援チャリティー カノンデュオシスターズコンサート	嘉村 ゆりえ 嘉村 えりか	文化交流 センター	177
6.8 7.13 8.10	(公財) 青梅佐藤財団共催事業 榎本福寿の日本神話	榎本 福寿	文化交流 センター	120
6.18	市民映画会『そして父になる』	—	文化交流 センター	174
7.5	(公財) 青梅佐藤財団共催事業 (公財) 青梅佐藤財団設立45周年記念事業 塩沼亮潤大阿闍梨「大峰千日回峰行の道を行く」	塩沼 亮潤	文化交流 センター	431

期 日	事 業 名	講 師 等	会 場	延受講者数
8.23	(公財) 青梅佐藤財団共催事業 飛び出せ！夏のサイエンスキッズ 磁石と電気のふしぎをさぐろう！(物理)	東 京 大 学 C A S T	文 化 交 流 セ ン タ ー	14
8.24	(公財) 青梅佐藤財団共催事業 飛び出せ！夏のサイエンスキッズ 生活に潜む化学！(化学)	東 京 大 学 C A S T	文 化 交 流 セ ン タ ー	20
8.24	(公財) 青梅佐藤財団共催事業 飛び出せ！夏のサイエンスキッズ どうぶつがみる世界！(生物)	東 京 大 学 C A S T	文 化 交 流 セ ン タ ー	16
9.4～11.13 (全9回)	文化交流センター文化講座 フォークギター教室	柳 川 幹 司 村 野 公 一	文 化 交 流 セ ン タ ー	134
9.10	市民映画会『ナミヤ雑貨店の奇蹟』	—	文 化 交 流 セ ン タ ー	176
9.23	(公財) 青梅佐藤財団共催事業 第16回増田明美親子ふれあいスポーツ 教室	増 田 明 美	大 門 市 民 セ ン タ ー	143
10.1	(公財) 青梅佐藤財団共催事業 ストーリーテラーと影絵劇～生きた影絵 の物語～	劇団スタジオ ライフ	新 町 市 民 セ ン タ ー	66
10.10	オリンピック・パラリンピック文化レガ シー事業 (文化ワークショップ) まげたり、たたいたり、銅線であそぼ う！～アクセサリーや小物をつくってみ よう～ 縄跳びパフォーマンス&ワークショップ 子ども体験遊びリンピック	持 田 史 人 カッ跳び戦隊縄 ★レンジャー	住友金属鉦 山アリーナ 青梅	293
10.15	(一社) 長唄協会共催事業 邦楽チャレンジ2022	長唄協会 日本三曲協会 清元協会 常磐津協会	文 化 交 流 セ ン タ ー	80
10.11	(公財) 青梅佐藤財団共催事業 市民コンサート ウィーンピアノ五重奏団コンサート	ウィーンピアノ 五 重 奏 団	羽村市生涯 学習センタ ーゆとろぎ	367
10.29	(公財) 青梅佐藤財団共催事業 国際理解講座公開講座 「柳田理科雄先生講演会」	柳 田 理 科 雄	文 化 交 流 セ ン タ ー	150
11.6～13 (全4回)	オリンピック・パラリンピック文化レガ シー事業 (文化キャラバン) 知る・きく・つくる・かなでる！竹の世界 へようこそ	東 京 楽 竹 団	新町市民センター 梅郷市民センター 大門市民センター 文化交流センター	142
12.10	市民映画会『青い山脈』	—	文 化 交 流 セ ン タ ー	120
12.18	(公財) 青梅佐藤財団共催事業 神津善行のタンゴの世界 華麗なるアルゼンチンタンゴ	神 津 善 行	羽村市生涯 学習センタ ーゆとろぎ	560
12.24	(公財) 青梅佐藤財団共催事業 第14回国立音楽大学ブラスオルケスタ ー演奏会	国立音楽大学ブ ラスオルケスタ ー	羽村市生涯 学習センタ ーゆとろぎ	620
1.14	(公財) 青梅佐藤財団共催事業 高橋多佳子&高橋薫子ニューイヤーコン サート	高 橋 多 佳 子 高 橋 薫 子	羽村市生涯 学習センタ ーゆとろぎ	574
1.22	(公財) 青梅佐藤財団共催事業 科学っておもしろい！善ちゃんのサイエ ンスショー	北 沢 善 一	文 化 交 流 セ ン タ ー	343

期 日	事 業 名	講 師 等	会 場	延受講者数
1. 29	(公財) 青梅佐藤財団共催事業 国際支援 藤原紀香チャリティ講演会& 写真展「Your Smile is My Smile!!」	藤 原 紀 香	羽村市生涯 学習センタ ーゆとろぎ	578
2. 12	(公財) 青梅佐藤財団共催事業 キッズ☆体験教室 絵が苦手でも楽しめる！わくわくチョコ ークアート	高 岡 理 恵	文 化 交 流 セ ン タ ー	25
2. 23	(公財) 青梅佐藤財団共催事業 キッズ☆体験教室 とび出す絵本を作ってみよう！	本 間 あ ず さ	文 化 交 流 セ ン タ ー	10
2. 25	(公財) 青梅佐藤財団共催事業 キッズ☆体験教室 糸でタペストリーを作ろう！	吉 永 志 伸	新 町 市 民 セ ン タ ー	7
3. 11	市民映画会『シング』	—	文 化 交 流 セ ン タ ー	105
3. 18	(公財) 青梅佐藤財団共催事業 飛び出せ！サイエンスファミリー 科学の最先端を見よう！バスツアー	首都圏外郭放水 路	首 都 圏 外 郭 放 水 路 ほ か	42

(3) ともに生きるための学習機会の充実

(単位：人)

期 日	事 業 名	講 師 等	会 場	延受講者数
3. 25	女性向けパワーアップ講座 イライラをイキイキに ～人生を楽しむためのアンガーマネジ メント～ (市民活動推進課共催)	安 藤 生 奈	市 役 所、 受 講 者 自 宅 (オンライン講座)	22

(4) 健やかに生きるための学習機会の充実

(単位：人)

期 日	事 業 名	講 師 等	会 場	延受講者数
9. 3～10. 8 (全 5 回)	青梅市生涯学習推進市民会議企画講座 作業療法学生による認知症予防講座	鎌 田 小 百 合 多 摩 リ ハ ビ リ テ ー シ ョ ン 学 院 学 生	市 役 所 福 祉 セ ン タ ー	83
11. 11	ピラティス～呼吸法と共に体幹を鍛える ～	三 和 由 香 利	総 合 体 育 館	58

(5) 暮らしやすい環境のための学習機会の充実

(単位：人)

期 日	事 業 名	講 師 等	会 場	延受講者数
4. 24～11. 13 (全 9 回)	令和 4 年度農業・食育体験教室	青梅食育クラブ ほ か	(公財)東京都 農 林 水 産 振 興 財 団 青 梅 庁 舎	370
11. 23	新町ウォーク (歴史講座) ～ 新町の開発について ～ (新町市民センター共催)	角 田 清 美	新 町 市 民 セ ン タ ー と そ の 周 辺	7
3. 25	新町ウォーク「春散歩 野鳥探しに行 こう！」(新町市民センター共催)	日 本 野 鳥 の 会	新 町 市 民 セ ン タ ー	15

(6) 推進体制づくり

(単位：人)

期 日	事 業 名	講 師 等	会 場	参加者数
5. 14～5. 15	生涯学習フェスティバル ～釜の淵新緑祭 2022～	34 事 業	釜 の 淵 公 園 内 ほ か	3, 328
7. 9～ 7. 10	(公財)UMELOCKFESTIVAL 実行委員会共 催事業	UMELOCKFESTIVAL 実 行 委 員 会	文 化 交 流 セ ン タ ー	177

	～音を通じて人とまちがつながる！青梅にLOCKON!～ UME LOCK FESTIVAL2022			
--	---	--	--	--

(7) おうめ子ども俳句コンテスト

期 日	行 事 名	会 場	投 句 数			入 選 数
			小学生	中学生	計	
12.3	第19回おうめ子ども俳句コンテスト表彰式	市 役 所	1,199句	1,697句	2,896句	29句

13 学校施設（音楽室）開放

市民の生涯学習の振興を図るため、市内小・中学校の音楽室を開放した。

(単位：団体、回、人)

開 放 施 設	利 用 登 録 団 体	延 利 用 回 数	延 利 用 者
今 井 小 学 校	1	1	20
第 二 中 学 校	0	0	0

14 掌理団体育成事業

(1) 青梅市民合唱団

昭和40年に発足した青梅市民合唱団は、毎週日曜日、青梅市文化交流センター（ネッツたまぐーセンター）で練習している。年齢・職業の異なった人達の音楽集団としては、近隣市町村の先駆的役割を果たしている。

ア 指導者 及 川 慎

イ 団 長 横 井 二 朗

ウ 団 員 49人

エ 演奏会

期 日	行 事 名	会 場	入 場 者
10.9	第 5 5 回 定 期 演 奏 会	福 生 市 民 会 館 大 ホ ー ル	380人

(2) 青梅市青少年吹奏楽団

昭和44年に結成された青梅市青少年吹奏楽団は、青少年の情操教育を推進するため組織されている。

練習・発表以外にも各種行事への協力等、ボランティア活動も行っている。こうした中で、団員相互の連携を深めるため、会報誌の発行や合宿などを催して、1つのグループとしても活発である。

ア 団 長 川 谷 恵 一

イ 団 員 42人

ウ 演奏会

期 日	行 事 名	会 場	入 場 者
12.25	第 5 3 回 定 期 演 奏 会	福 生 市 民 会 館 大 ホ ー ル	100人

(3) 青梅児童合唱団

昭和52年度に発足した青梅児童合唱団は、小中学生の情操を向上させ、学校・学年の異なる集団活動を通じて、互いに協力して連帯感を高め、合唱のよろこびを経験させることを目的として編成されている。

ア 指導者 橋本 研、高野 恵、深沢 早依里、渡辺 洋子

イ 団員 31人

ウ 演奏会

期 日	行 事 名	会 場	入 場 者
9.18	第 4 4 回 定 期 演 奏 会	福 生 市 民 会 館 大 ホ ー ル	148人

(4) ファミリーコンサート

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

15 青少年リーダー育成研修会

平成8年度から異年齢集団の団体活動によるリーダー育成を長期間プログラムで実施している。

期 間	会 場	延 参 加 者	指 導 者 等
6.19～8.28 (全6回)	市 役 所 沢 井 市 民 セ ン タ ー ほ か	200人	小 学 校 教 諭 青 少 年 委 員 ほ か

16 国際理解講座

(1) 小学生講座 ((公財) 青梅佐藤財団共催事業)

期 日	内 容	会 場	受 講 者 数	講 師
5.21～3.4 (全20回)	英 会 話 講 座 文 化 講 座	市 役 所 ほ か	小学4年生 21人 小学5年生 22人 小学6年生 17人 計 60人	ウィリアム・ノル クリストファー・ブジェ

(2) 中学・高校生講座 ((公財) 青梅佐藤財団共催事業)

期 日	内 容	会 場	受 講 者 数	講 師
5.21～3.4 (全20回)	英 会 話 講 座 文 化 講 座	市 役 所 ほ か	中学1年生 16人 中学2年生 14人 中学3年生 8人 高校3年生 1人 計 39人	ウィリアム・ノル クリストファー・ブジェ

(3) 外国人日本語講座 ((公財) 青梅佐藤財団共催事業)

期 日	内 容	会 場	受 講 者	講 師
5.18～11.16 (全18回)	正しい日本語の学習 音声・文字・助詞	東 青 梅 セ ン タ ー ビ ル	6人	砂 岡 三 知 子 三 木 薫

17 子ども体験塾事業

東京都市長会および東京都町村会が多摩・島しょ地域の魅力を高め、子どもを対象とした高度で大規模な感動体験を提供する事業に対して交付する助成金を活用した。

子ども体験塾 夏休み子どもクリエイター体験！～ひらめき！つくろう自分の世界！～

羽村市、瑞穂町と合同で実施した。

(単位：人)

期 日	事 業 名	会 場	延参加者
8.2、8.3、8.4 (全6回)	ワークショップ「身近なものからナゾをつくろう！ナゾとき制作ワークショップ」(8.3、8.4は講師体調不良のため中止)	羽村市生涯学習センターゆとろぎ	18
8.3、8.4 8.5 (全9回)	ワークショップ「ゲームプログラミングワークショップ～自分だけのコントローラーをつくろう」	文化 交 流 セ ン タ ー 瑞穂ビューパーク・スカイホール 羽村市生涯学習センターゆとろぎ	138
8.3、8.4 8.5 (全9回)	ワークショップ「サウンドクリエーターワークショップ」	文化 交 流 セ ン タ ー 瑞穂ビューパーク・スカイホール 羽村市生涯学習センターゆとろぎ	75
8.6、8.7 (全6回)	ワークショップ「イラストレーターワークショップ」	羽村市生涯学習センターゆとろぎ	46
8.6、8.7 (全3回)	公演「怪盗からの挑戦状！参加型ナゾときイベント」	羽村市生涯学習センターゆとろぎ	121
8.2～8.7	展示「君も挑戦！ナゾとき体験！」	羽村市生涯学習センターゆとろぎ	474

18 放課後子ども教室

放課後に小学校の余裕教室等を活用して、子供たちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、子供たちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、子供たちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進することを目的に、16校でおうめ放課後子ども教室「夕やけランド」を実施した。

(1) 放課後子ども教室推進事業運営委員会開催回数 3回

(2) おうめ放課後子ども教室「夕やけランド」活動実績 (単位：人)

実施校	期 日	活 動 内 容	活 動 場 所	延参加者
第一小	4.13～3.8 (全36回)	自主学習、工作、将棋、しっぽ取り、バドミントン ほか	体育館、校庭	1,421
第二小	4.11～3.1 (全47回)	自主学習、工作、ぬり絵、ドッジボール、バドミントン ほか	体育館、体育館2階	912
第三小	4.13～2.22 (全23回)	自主学習、サッカー、バドミントン、トランプ ほか	体育館、校庭	647
第四小	4.12～3.15 (全85回)	自主学習、工作、読み聞かせ、サッカー、ブロック ほか	校庭、ランチルーム、視聴覚室	2,763
第五小	4.11～3.22 (全119回)	自主学習、工作、読書、縄跳び、サッカー ほか	体育館、校庭、中庭、合科室	5,478
第六小	4.27～2.22 (全21回)	自主学習、工作、折り紙、バドミントン、跳び箱 ほか	体育館、校庭、ミーティングルーム	316
第七小	4.11～3.17 (全106回)	自主学習、工作、折り紙、紙芝居、野球 ほか	体育館、校庭、教室	1,687
成木小	4.20～3.15 (全38回)	自主学習、工作、折り紙、トランプ、バドミントン ほか	体育館、校庭、図書室、ミーティングルーム	445
河辺小	4.27～3.3 (全28回)	自主学習、工作、バスケットボール、縄跳び ほか	体育館、校庭	661
新町小	5.18～2.15 (全21回)	自主学習、読書、折り紙、ポッチャ、バドミントン ほか	体育館、校庭	499
霞台小	4.13～3.1 (全30回)	自主学習、工作、囲碁、将棋、オセロ、バドミントン ほか	体育館、校庭、教室	421

実施校	期 日	活 動 内 容	活 動 場 所	延参加者
友田小	5.11～3.1 (全32回)	自主学習、折り紙、工作、 卓球、ドッジボール ほか	体育館、校庭	921
今井小	4.13～2.22 (全32回)	自主学習、工作、立体色並べ、 バドミントン、ドッジボール ほか	体育館、校庭	1,542
若草小	4.20～2.22 (全29回)	自主学習、工作、写し絵、 卓球、バドミントン ほか	体育館	1,427
藤橋小	4.27～2.22 (全26回)	自主学習、工作、けん玉、 バドミントン、ドッジボール ほか	体育館、校庭	948
吹上小	4.11～3.15 (全51回)	自主学習、工作、ぬり絵、 サッカー、バドミントン ほか	体育館、校庭、図書室	1,050

19 御岳山ふれあいセンター施設概要

(1) 施設概要

名	称	御 岳 山 ふ れ あ い セ ン タ ー
所	在 地	青 梅 市 御 岳 山 3 8 番地の2
開	設 年 月	平 成 3 年 4 月
敷	地 面 積	999.77 m ²
構	造	鉄骨造2階建
建	築 延 面 積	413.612 m ²
各 室 内 訳 (m ²)	研 修 室	49.5
	ス ポ ー ツ ホ ー ル	198.0
	会 議 室	
	創 作 室	
	研 修 室	
	活 動 室	
	和 室	
	多 目 的 ホ ー ル	
管 理 人 室		
そ の 他	166.112	

(2) 配置図 社会教育施設配置図(66頁)参照

(3) 利用状況

(単位：回、人)

区 分		研 修 室	ス ポ ー ツ ホ ー ル	計	稼働率(%)
御 岳 山 ふ れ あ い セ ン タ ー	利用回数	53	150	203	5.7
	利用人員	797	3,168	3,965	

20 青梅市文化交流センター(ネッツたまぐーセンター)施設概要

(1) 施設概要

名	称	青 梅 市 文 化 交 流 セ ン タ ー
愛	称 (ネーミングライツ)	ネ ッ ツ た ま ぐ ー セ ン タ ー
所	在 地	青 梅 市 上 町 3 7 4 番 地
開	館 日	令 和 元 年 5 月 7 日

敷 地 面 積	1440.02 m ²	
構 造	鉄 骨 造 (一部鉄筋コンクリート造) 地下1階地上4階建	
建 築 延 面 積	3119.17 m ²	
各 室 内 訳 (m ²)	多目的ホール	267.15
	文化活動室 A	88.55
	文化活動室 B	79.70
	バンドルーム	62.16
	文化活動室 C	22.07
	文化活動室 D	22.07
	キッズコーナー	62.53
	青梅市民センター 事 務 室	44.83
	研 修 室 A	100.74
	研 修 室 B	100.64
	研 修 室 C	39.67
	研 修 室 D	15.62
	アートルーム	41.95
	実 習 室	58.67
	会 議 室 A	99.08
	会 議 室 B	57.84
	会 議 室 C	50.76
	会 議 室 D	48.07
	ミーティング ル ー ム A	23.34
	ミーティング ル ー ム B	20.07
和 室 A	19.80	
和 室 B	19.81	
そ の 他	1774.05	

(2) 配置図 社会教育施設配置図(66頁)参照

(3) 利用状況

(単位:回、人)

区 分		会 議 室 等	多 目 的 ホール	計	稼働率(%)
合 計	利用回数	17,929	709	18,638	59.6
	利用人員	80,359	26,705	107,064	

21 視聴覚教育事業

(1) 16ミリ発声映写機操作講習会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(2) ビデオプロジェクター操作講習会

期 日	修了証交付数	会 場	講 師
11.18	8	市 役 所	社会教育課職員

(3) 16ミリフィルム保有状況

(単位：本)

動 画	劇 画	生 活 文 化	保 健 ・ 体 育 ・ 衛 生	産 業 ・ 科 学	社 会 ・ 郷 土	計
112	43	25	4	11	11	206

(4) ビデオテープ保有状況

(単位：本)

動 画	劇映画	地 域 くらし	保 健 スポーツ	地 理 地 誌	歴 史	科 学 技 術	文 化	教 育	一 般	記 録	計
222	28	134	74	111	42	171	193	76	23	19	1,093

(5) DVD保有状況

(単位：本)

動 画	劇映画	地 域 くらし	保 健 スポーツ	地 理 地 誌	歴 史	科 学 技 術	文 化	教 育	一 般	記 録	計
18	1	13	4	0	1	5	1	5	4	2	54

(6) ライブラリー機材保有状況

種 別	数 量	内 容	種 別	数 量	内 容
16ミリ発声映写機	3台		スライド映写機	3台	
ビデオプロジェクター	5台		外部スピーカー	2組	
ビデオデッキ	2台	DVD使用可	暗 幕	5枚	300×200cm2枚 300×240cm3枚
スクリーン	5本	引き上げ式5本	コードリール	3台	

(7) ライブラリー機材利用状況

区 分	16ミリ 発声映写 機利用数 (回)	16ミリ フィルム 利用数 (本)	内 訳				ビデオプロ ジェクター 利用数 (回)	ビデオ テープ 利用数 (本)	内 訳				D V D 利用数 (本)	内 訳		ビデ オ デッキ 利用数 (回)	スライ ド 機 利用数 (回)	スクリー ン 機 利用数 (本)
	動画	劇映画	生活 文化	その他	動画	劇映画	一般	その他	動画	その他	動画	その他	動画	その他	動画	その他	動画	その他
官 公 庁						13										2		19
市民センター						5										1		2
保 育 園 幼 稚 園	1	4	4										1	1				1
学 校	小																	
	中																	
	高																	
地 域 団 体						7										2		6
グ ル ー プ サ ー ク ル						20										2		
子 ど も 会																		
福 祉 施 設						2										1		2
学 童 ク ラ ブ																		
個 人							1	1										
そ の 他						21										12		3
計	1	4	4			68	1	1					1	1		20		33

22 芸術文化事業

(1) 生涯学習フェスティバル～釜の淵新緑祭 2022～

期 日	催 物 数	会 場	参 加 者 数
5.14～ 5.15	34 事業	釜 の 淵 公 園 内 ほ か	3,328 人

(2) 芸術文化奨励賞

受賞者

ア 個人

区 分	氏 名	該 当 事 項
書 道	虻 川 幸 華	第 45 回 全 国 学 生 書 写 書 道 展 「文 部 科 学 大 臣 賞」 受 賞
書 道	関 口 美 夢	第 10 回 全 国 書 写 書 道 伝 統 文 化 大 会 令 和 3 年 度 総 合 の 部 「文 部 科 学 大 臣 賞」 受 賞
書 道	田 中 則 衣	第 37 回 全 国 書 き 初 め 展 覧 会 「文 部 科 学 大 臣 賞」 受 賞

イ 団体

区 分	氏 名	該 当 事 項
音 楽	市 立 第 三 小 学 校 金 管 バ ン ド 部	第 27 回 日 本 管 楽 合 奏 コ ン テ ス ト 全 国 大 会 小 学 校 部 門 に 出 場
	市 立 第 二 中 学 校 吹 奏 楽 部	第 27 回 日 本 管 楽 合 奏 コ ン テ ス ト 全 国 大 会 中 学 校 S 部 門 に 出 場
	市 立 第 三 中 学 校 吹 奏 楽 部	第 27 回 日 本 管 楽 合 奏 コ ン テ ス ト 全 国 大 会 中 学 校 A 部 門 に 出 場
	市 立 第 六 中 学 校 吹 奏 楽 部	第 27 回 日 本 管 楽 合 奏 コ ン テ ス ト 全 国 大 会 中 学 校 S 部 門 に 出 場

音 楽	市立吹上中学校 吹 奏 楽 部	第 27 回日本管楽合奏コンテスト全国大会中学校 S 部門に出場
	市立泉中学校 吹 奏 楽 部	第 27 回日本管楽合奏コンテスト全国大会中学校 A 部門に出場

(3) 芸術文化奨励基金

(単位：円)

前年度末残高 A	年 度 中 増 減 額			年 度 末 残 高 A + B + C - D
	積 立 額 B	運用益金積立額 C	処 分 額 D	
3,509,143	0	1,200	155,030	3,355,313

(4) 芸術文化祭

ア 期間 10月8日～11月23日 参加団体 19団体 参加者数 4,656人（観覧者含む）

イ 開催状況

団 体 名	催 し 物	期 日	会 場
青 梅 市 合 唱 連 盟	合 唱 祭	10.16	福 生 市 民 会 館
青 梅 市 二 胡 連 盟	二 胡 演 奏 会	11.23	文 化 交 流 セ ン タ ー
O J - S U N S	ロ ッ ク フ ェ ス テ ィ バ ル	11.5	〃
青 梅 民 謡 愛 好 連 盟	民 謡 大 会	11.12	〃
青 梅 三 曲 連 盟	三 曲 演 奏 会	10.30	〃
青 梅 奇 術 連 盟	マ ジ ッ ク フ ェ ス テ ィ バ ル	11.19	〃
青 梅 市 民 舞 踊 連 盟	民 舞 踊 大 会	11.20	〃
青 梅 子 ども 音 楽 連 盟	み ん な の 音 楽 会	10.23	福 生 市 民 会 館
青 梅 フ ラ ダ ン ス 連 盟	H U L A	11.23	〃
青 梅 市 日 本 舞 踊 連 盟	日 本 舞 踊 公 演	11.3	文 化 交 流 セ ン タ ー
青 梅 茶 道 連 盟	秋 の 茶 会	11.13	〃
青 梅 短 歌 会	短 歌 大 会	10.15	〃
	短 歌 展	11.4～11.9	西 友 河 辺 店 ボ ッ パ ル ト ホ ー ル
青 梅 市 書 道 連 盟	書 道 展	10.21～10.26	〃
青 梅 市 囲 碁 連 盟	囲 碁 大 会	11.6	文 化 交 流 セ ン タ ー
青 梅 市 俳 句 連 盟	俳 句 大 会	11.3	〃
	俳 句 展	11.4～11.9	西 友 河 辺 店 ボ ッ パ ル ト ホ ー ル
日 本 盆 栽 協 会 青 梅 支 部	盆 栽 展	10.28～10.30	文 化 交 流 セ ン タ ー
青 梅 将 棋 連 盟	将 棋 大 会	10.16	〃
青 梅 美 術 協 会	美 術 展	11.1～11.6	〃
青 梅 お わ ら の 会	お わ ら 節	10.10	〃

※10月8日文化交流センターにて、文化団体連盟主催によるオープニングショーを開催した。

第 4 章 文 化 財 保 護 関 係 事 業

1 郷土博物館事業

(1) 郷土資料の収集および整理

収 集	電 算 入 力
935 点 (民具類 231 点、文書等 704 点)	353 点

(2) 収蔵資料の貸出し

資 料 名	貸 出 し 先	期 間	理 由
青梅鉄道資料 14 点	昭島市郷土資料室	6.28～10.19	展示のため
石臼 1 点	青梅市立成木小学校	10.14～11.11	授業のため
炭火アイロンほか 3 点	青梅市立吹上小学校	1.9～ 1.15	授業のため
赤糸威鎧復原模造品 (画像データ) 1 点	川越市立博物館	3.18～ 3.31	展示のため

(3) 第35回多摩郷土誌フェアへの参加

多摩地区の市や町が参加し、郷土誌関係の出版物を展示し、多くの人々に紹介、希望者に頒布することを目的とした同フェアに参加した。

期 間	場 所	販 売 実 績
1.21～22	立川市女性総合センター・アイム1Fギャラリー	『おうめ文化財さんぽ』など、計 52 冊 販売金額 51,550 円

(4) 展示事業

展 示 名	期 間	内 容
常設展「郷土のあゆみ展」	通 年	収蔵資料の中から青梅市域の自然や歴史、産業に関する資料を展示
企画展「青梅宿の文人・根岸典則～文芸サロンに集う人々～」	4.1～4.3	江戸時代後期に活躍した青梅宿の文人・根岸典則の出生から没後までの各テーマに沿って、典則の作品や他の文人たちの関連資料を展示
企画展「青梅の林業と筏流し～多摩川とともに生きる～」	4.16～7.3	江戸時代に筏師の元締を務めた沢井村の名主家に残されていた古文書をはじめ、林業や筏流しに使用された道具などを展示
企画展「霞台遺跡展～見つけた！青梅・古代の暮らし～」	7.16～10.2	霞台遺跡の調査で発掘された旧石器時代から奈良時代にかけての遺物をはじめ、平成18年度から令和元年度まで実施した「子ども発掘体験塾」で出土した土器等を展示
企画展「生誕200年 齋藤眞指の生涯」	10.15～1.9	明治時代に勝沼神社の神官を務めながら皇国地誌の編纂を手掛けた齋藤眞指が使用した国学の書物や彼が作成した皇国地誌の原稿などを展示
新収蔵品展 2022	1.21～3.31	令和3年度に収蔵した資料を展示
パネル展示「赤糸威鎧と畠山重忠ゆかりの地」	4.1～12.28	赤糸威鎧や市内にある畠山重忠ゆかりの場所について、写真パネルや古文書を展示
パネル展示「江戸城と成木石灰」	1.4～3.31	市内にある成木石灰について、関連史跡の写真パネルや古文書を展示

(5) 普及事業

ア 博物館関連講座

(単位：人)

実 施 日	内 容	講 師	会 場	参加者数
11.27	企画展関連講座「郷土の偉人・齋藤眞指と明治の碩学・井上頼圀」	黒 田 耕	福祉センター	35

※ 東京文化財ウィーク関連事業としても実施した。

イ 図録の発行

(単位：部、円)

書名	内 容	部 数	頒 布 価 格
企画展「生誕200年 齋藤眞指の生涯」図録	A4判 33頁	300	600

ウ 学芸員および文化財解説ボランティア等による展示解説

(単位：人)

時 期	団 体 数	団 体 内 訳	合 計
通年	14 団体	小・中学校 (12 団体 664 人)、一般 (2 団体 110 人)	774

エ 「畠山重忠公ゆかりの地大集合！」への参加

大河ドラマ主要登場人物の1人・畠山重忠公にゆかりのある自治体の1つとして、12月3日に深谷市で開催されたイベントに参加した (11 自治体参加)。

(6) 学芸員実習生の受入れ

(単位：人)

期 間	目 的	実 習 内 容	指 導	実習生
8.2~8.13 (9日間)	学芸員資格 取得のため	民具・古文書の整理と収蔵方法、考古資料の整理、展示作業など	博物館学芸員等職員	3

(7) 博物館入館者数

(単位：人、日)

月	入館者数	開館日数	月	入館者数	開館日数	備 考
4	1,890	26	10	1,421	26	個人 11,911 人 団体 867 人 月平均 1,065 人 1日平均 41人
5	1,531	26	11	1,114	26	
6	1,092	26	12	639	24	
7	671	27	1	632	24	
8	739	26	2	762	24	
9	1,018	26	3	1,269	27	
合 計			12,778			308

(8) 施設概要

- ア 名 称 青梅市郷土博物館
 イ 所 在 地 青梅市駒木町1丁目684番地 (釜の淵公園内)
 ウ 敷地面積 36,371.40 m²
 エ 構 造 鉄筋コンクリート造2階建
 オ 建築面積 628.412 m²
 カ 延床面積 786.171 m²
 キ 開 館 昭和49年5月
 ク 各室の概要

	名 称	面 積 (m ²)	名 称	面 積 (m ²)
1階 565.278 m ²	展 示 室	124.000	収 蔵 庫	62.000
	荷 解 室	50.000	機 械 ・ 電 気 室	54.000
	会 議 室	26.000	事 務 室	62.000
	そ の 他	187.278		
2階 220.893 m ²	展 示 室	204.000	そ の 他	16.893

ケ 別棟収蔵庫

- (ア) 構 造 鉄筋コンクリート造2階建
 (イ) 1階面積 372.360 m²
 (ウ) 2階面積 302.760 m²

(エ) 延床面積 675.120 m²

(9) 配置図 社会教育施設配置図 (66頁) 参照

2 文化財保護事業

(1) 指定文化財の管理公開

(単位：m²、人)

指 定 区 分	名 称	規 模	入 館 者 数
国指定重要文化財	旧宮崎家住宅	80.8	8,729
都指定有形文化財	旧吉野家住宅	1,780.0	1,119
都指定有形民俗文化財	旧稲葉家住宅	447.8	3,160
都指定史跡	勝沼城跡	134,227.0	
	青梅新町の大井戸	2,121.0	
市指定史跡	今井城跡	7,675.0	
	藤橋城跡	5,480.0	
	櫓台ほか	1,926.0	
	岩蔵住居跡	121.5	
	成木石灰所久保遺跡の一部	201.0	
合 計		154,060.1	13,008

※旧吉野家住宅は、屋根葺き替え工事のため、4月1日～9月5日は臨時休館とした。

(2) 市内の指定文化財等

(単位：件)

国指定文化財		東京都指定文化財		青梅市指定文化財	
種 別	数	種 別	数	種 別	数
国 宝	2	有 形 文 化 財	27	有 形 文 化 財	80
重 要 文 化 財	11	—	—	—	—
重 要 美 術 品	4	—	—	—	—
重 要 無 形 文 化 財	—	無 形 文 化 財	—	無 形 文 化 財	—
重要有形民俗文化財	—	有 形 民 俗 文 化 財	1	有 形 民 俗 文 化 財	8
重要無形民俗文化財	—	無 形 民 俗 文 化 財	4	無 形 民 俗 文 化 財	7
特 別 史 跡	—	史 跡	7	史 跡	24
天 然 記 念 物	1	旧 跡	2	旧 跡	3
特 別 名 勝	—	天 然 記 念 物	4	天 然 記 念 物	13
重要伝統的建造物群	—	名 勝	1	名 勝	—
合 計	18	合 計	46	合 計	135
国 登 録 文 化 財					
種 別	数				
有形文化財（建造物）	21				

※ 吉川英治記念館内にある4件の建物が、国登録有形文化財（建造物）旧吉川英治邸（草思堂）として新たに登録された。

(3) 青梅市文化財保護審議会

青梅市文化財保護審議会開催回数 3回

(4) 青梅市文化財保護指導員連絡協議会

文化財保護指導員連絡協議会を開催したほか、報告書等の刊行、普及活動を実施した。

ア 青梅市文化財保護指導員連絡協議会開催回数 10回

イ 視察・調査

(単位：人)

開催日	主 内 容	参加委員
12.17	霞台遺跡の発掘調査を視察	5
1.9	天寧寺や虎柏神社の文化財などを視察	8

ウ 報告書等の刊行

名 称	内 容
「青梅市の文化遺産」	広報おうめに市内の文化遺産の紹介記事を掲載
指導員活動報告書第38号	ふきこもり、青梅市の民家の屋根葺き材について等を収録
文化財ニュース	文化財や自然等をテーマに月1回発行（第414号～第425号）

エ わがまち青梅講座

(単位：人)

実施日	内 容	実施コース	講 師	参加者数
11.26	秩父鎌倉道を歩く	軍畑駅～奥沢橋梁～鎧塚～軍畑大橋～軍畑の渡し跡～大船の井戸～柚木の郷倉～愛宕神社～即清寺	三好ゆき江 御手洗 望	11

(5) 指定文化財の普及事業

(単位：人)

実施期間	内 容	実 施 場 所	延 人 数
4.29～5.22	五月人形のミニ展示	旧宮崎家住宅、旧稲葉家住宅 (旧吉野家住宅は、屋根葺き替え工事のため未実施)	1,206
2.18～3.21	雛人形のミニ展示	旧宮崎家住宅、旧稲葉家住宅、旧吉野家住宅	1,854

(6) 文化財講座

(単位：人)

実 施 日	講 座 名	内 容	講 師	延参加者数
11.3 (2回)	旧吉野家住宅屋根葺き替え工事完成見学会	屋根葺き替え工事の様子の映像を上映したほか、住宅の内外部について説明	村山利夫、郷土博物館職員	21

(7) 東京文化財ウィーク 2022

実施期間	内 容	公 開 場 所
10.29～11.6	東京都教育委員会と共催で実施する公開事業。市で管理する都指定文化財等を一般公開したほか、解説カードを配布。	郷土博物館・旧宮崎家住宅・旧吉野家住宅・旧稲葉家住宅・御岳の神代ケヤキ・鈴法寺跡・青梅新町の大井戸

(8) 市指定無形民俗文化財（獅子舞7件）に対する保存伝承の奨励

名 称	指定年月日	名 称	指定年月日
鹿島玉川神社獅子舞	昭和42.11.3	野上春日神社獅子舞	昭和42.11.3
友田御嶽神社獅子舞	昭和42.11.3	上成木高水山獅子舞	昭和42.11.3
成木熊野神社獅子舞	昭和42.11.3	梅郷獅子舞	昭和44.11.3
天之社獅子舞	昭和45.11.3		

(9) 無形民俗文化財保存団体意見交換会の開催

市内の無形民俗文化財保存団体（都指定5件、市指定7件）にアンケート調査を実施し、3月24日に意見交換会を開催した（7団体参加）。

(10) 市史史料集等の発行

(単位：部、円)

書名	内 容	部 数	頒 布 価 格
青梅市史史料集 第55号 「皇国地誌・西多摩郡村誌（上）」再版	A5判 379頁	200	1,400
青梅市史史料集 第56号 「皇国地誌・西多摩郡村誌（下）」再版	A5判 354頁	200	1,400

(11) 埋蔵文化財の調査保護

市内181か所の周知の埋蔵文化財について、各種開発に先駆けた事前の記録保存のための発掘調査を実施した。

ア 遺跡確認などの照会・届出等

(単位：件)

照 会 件 数	届 出 件 数	確 認 発 掘 調 査	立 会 い 調 査	慎 重 工 事
410	70	9	61	0

イ 国、都の補助金を得て実施した8件を含む合計9件の確認発掘調査を次のとおり実施した。

遺 跡 名	所 在 地	原 因	調 査 方 法	結 果
	対象面積・調査面積	調査期間		
城ヶ崎	藤橋 2-120	宅地造成	確認調査	陥穴状遺構
	— ・ 23.0 m ²	5.17		
K - 1 7	塩船 149 他	宅地造成	確認調査	焼土
	— ・ 36.0 m ²	6.28～6.29		
霞 台	大門 2-234-1 他	宅地造成	確認調査	住居跡
	— ・ 35.0 m ²	7.8～7.9		
K - 1 2 ・ 1 3	師岡町 2-383-5	店舗建設	確認調査	遺構なし
	— ・ 43.96 m ²	8.4～8.5		
今井馬場	今井 2-917	宅地造成	確認調査	住居跡
	— ・ 27.0 m ²	9.21～9.22		
霞 台	今寺 3-370 他	宅地造成	確認調査	ピット
	— ・ 144.0 m ²	10.18～10.21		
霞 台	大門 2-193 他	宅地造成	確認調査	ピット
	— ・ 101.2 m ²	11.9～11.11		
霞 台	大門 2-234-1 他	宅地造成	確認調査	住居跡
	— ・ 4.0 m ²	1.17～1.18		
三田館跡	長淵 1-57-2 他	宅地造成	確認調査	ピット・土坑・集石状遺構
	— ・ 100.0 m ²	3.22～3.29		

(12) 指定文化財の保存修理補助事業

指定文化財の修理・整備事業に補助金を交付し、保存措置を図った。

(単位：千円)

文 化 財 の 名 称	補 助 事 業 の 内 容	事 業 費	市補助金	備 考
国宝 赤糸威鎧/ 重要文化財 紫裾濃鎧	赤糸威鎧および紫裾濃鎧の修理、鎧掛け台および残欠類の収納箱の作製	3,982	403	市補助金 10.12/100
重 要 文 化 財 木造千手観音立像等	木造千手観音立像の修理、木造二十八部衆立像の清掃	5,683	710	市補助金 12.5/1000
都 指 定 有 形 文 化 財 馬場家御師住宅	勝手口の床板修理等	693	69	市補助金 1/10

都指定有形文化財 御嶽神社旧本殿	落雷抑制型避雷針およびEPフィルター(避雷器)の設置等	5,280	528	市補助金 1/10
都指定有形文化財 銅製鰐口・鉄製俵形賽銭箱	武蔵御嶽神社宝物殿の天井裏改修による環境整備	3,315	331	市補助金 1/10
市指定有形文化財 下山八幡神社本殿	火災受信機の移設	957	319	市補助金 1/3
市指定天然記念物 石神の大イチョウ	危険枝の剪定	986	328	市補助金 1/3
合 計		20,896	2,688	

(13) 旧吉野家住宅整備経費

ア 債務負担行為にもとづく委託

(単位：千円)

委託名称	委託内容	契約金額	3年度支払額	4年度支払予定額	受注者	契約工期
旧吉野家住宅屋根葺き替え工事 監理委託	屋根葺き替え工事に伴う監理	1,980	—	1,980	(株)文化財工 学研究所	R3.12.17 ~10.31

イ 債務負担行為にもとづく工事費

(単位：千円)

工事名称	工事内容	契約金額	3年度支払額	4年度支払予定額	受注者	契約工期
旧吉野家住宅屋根葺き替え工事	経年劣化に伴う屋根葺き替え工事	43,747	13,800	29,947	(有)田中木工	R3.11.30 ~10.31

ウ 旧吉野家住宅の保存と活用を目的とした、旧吉野家住宅保存活用計画を策定した。

第 5 章 美 術 館 関 係 事 業

1 美術館運営について

美術館のあり方として、博物館法および次の性格を基本に各種事業を実施した。

基本的性格

優れた美術作品の収集・公開を中心に、各種普及事業を通して市民の美術の振興を図る。

- 我国の優れた近代絵画に接することのできる美術館
- 芸術文化創造の場としての美術館

2 美術館運営委員会活動

美術館運営委員会開催回数（定例会） 2回

3 展示事業

(1) 展覧会および観覧者数

(単位：日、人)

展覧会名	会期	日数	内 容	観覧者数	備 考
特別展 「没後2年 栗原一郎展」	4. 9 ～5. 29	44	1作家49点 作家が遺した人物や風景、花を描いた油彩画と福生市が所蔵するデッサン等を展示	1,700	
特別展 「ふる里の心を描き続けて55年 原田泰治の世界」	9. 17 ～11. 6	44	1作家81点 ナイーフギャラリー(原田泰治事務所)が所蔵する初期の絵本原画から晩年までの作品を6つの章立てで展示	7,700	
館蔵企画展 「没後30年 藤本能道展」	11. 19 ～1. 15	45	1作家123点 市役所本庁舎の展示品を除く館蔵品全点と藤本工房に残された関連資料を展示	848	
館蔵企画展 「共通点を探せ!! あなたのお気に入り はどれ?」	2. 11 ～3. 26	38	38作家64点 館蔵品約2,300点のうちの64点を選び抜き、隣り合った作品に共通点を持たせ、つながりを探す遊び感覚の展示	926	
合 計		171		(A) 11,174	1日平均 65.3人

常設展示 小島善太郎、藤本能道作品（年4回展示替え）

市役所展示 小島善太郎、藤本能道作品 本庁舎2階展示コーナー（年3回展示替え）

(2) 貸出施設使用による展示等

(単位：回、日、人)

種 別	開 催 数	日 数	利 用 者 数
一 般 展 示	6	29	2,036
合 計	6	29	(B) 2,036

美術館総入館者数 (A) + (B) = 13,210人

4 普及事業

(単位：回、人)

区分	内 容	実 施 日	回数	講 師 名 等	延参加 人 員
鑑賞講座	特別展 ゲストによるギャラリートーク 「没後2年 栗原一郎展」(一般対象)	4.24	1	栗原 道子	19
	特別展 ギャラリーガイド 「没後2年 栗原一郎展」(一般対象)	5.21	1	美術館学芸員	8
	特別展 ギャラリーガイド 「ふる里の心を描き続けて55年 原田泰治 の世界」(一般対象)	①10. 1 ②10.23	2	美術館学芸員	30
	館蔵企画展 ギャラリーガイド 「没後30年 藤本能道展」(一般対象)	①12.24 ② 1. 8	2	美術館学芸員	21
講演会	館蔵企画展 ゲストスピーカーによる講演 会とギャラリートーク 「没後30年 藤本能道展」(一般対象)	12.10	1	橋 詰 果歩 高田 瑠美 末岡 信彦 廣瀬 義之	20
実技講座	実技講座 工作教室 「プラダンをデコってフォトフレームを作 ろう」(小学生以上対象)	3.5	1	熊田 路子	6
合 計			8		104

5 収集事業

(1) 美術作品等の収集にかかる基本方針

- ア 近代の絵画を中心として、郷土ゆかりの美術家および郷土にゆかりの深い作品
- イ 我国における美術史上、さまざまな役割を果たした美術家の作品
- ウ 我国における美術史を理解する上で必要な美術に関する貴重な資料

(2) 美術作品購入

令和4年度は、美術作品の購入を見送った。

(3) 収蔵作品数

(単位：点)

	日本画	油 彩	素 描	版 画	彫 刻	工 芸	書	合 計
前年度末保有数	356	374	786	640	11	130	5	2,302
本年度中 増 加 分	購 入	0	0	0	0	0	0	0
	寄 贈	0	0	0	0	0	0	0
本年度末保有数	356	374	786	640	11	130	5	2,302

6 青梅市美術作品取得基金

(1) 基金の状況

(単位：円)

区 分	基 金 の 額 (A+B)	左 の 内 訳	
		美術作品保有額(A)	預 金 額(B)
前 年 度 末 現 在	30,000,000	21,830,500	8,169,500
決 算 年 度 末 現 在	30,000,000	21,830,500	8,169,500

(2) 運用の状況

(単位：点、円)

前年度美術 作品保有額 (A)	年 間 異 動 額				年 度 末 美 術 作 品 保 有 額 (D)=(A+B-C)	運 用 益 預 金 子 利 子	資 金 回 転 率 (B) / 基 金 の 額
	購 入 作 品 数	購 入 額 (B)	処 分 作 品 数	処 分 額 (C)			
21,830,500	0	0	0	0	21,830,500	3,200	0.00

7 青梅市美術作品選定会議

開催回数 0回

8 収蔵作品貸出

作品名	作家名	会期	展覧会名、会場
《月島》	小茂田青樹	10.22～12.4	「市制施行100周年・開館20周年記念特別展 小茂田青樹展」 川越市立美術館
《住吉》			
《薔薇》			

9 美術館施設概要

(1) 施設概要

- ア 名 称 青梅市立美術館・青梅市立小島善太郎美術館
- イ 所 在 地 青梅市滝ノ上町1346番地の1
- ウ 敷地面積 6,693.33㎡（駐車場および隣接公園緑地を含む。）
- エ 構 造 鉄筋コンクリート造 地上2階 地下1階
- オ 建築面積 934.670㎡
- カ 延床面積 1,744.532㎡
- キ 開 館 日 昭和59年10月1日
- ク 各室の概要

	部 屋 名	面積(㎡)	部 屋 名	面積(㎡)	部 屋 名	面積(㎡)
1 階 863.7㎡	エントランス ホール	79.5	ロ ビ ー	87.5	第3展示室 (市民ギャラリー)	75.7
	事 務 室	46.5	館 長 室	20.0	荷 解 室	11.7
	収 蔵 庫(1)	28.3	収 蔵 庫(2)	53.5	研 修 室(1)	68.0
	研 修 室(2)	48.3	研 修 室(3)	49.3	休 養 室	11.9
	喫 茶 室	70.5	そ の 他	213.0		
2 階 641.6㎡	第1展示室	229.7	第2展示室	207.7	そ の 他	81.0
	展 示 ホール	91.4	展 望 ロビー	31.8		
地 階 239.2㎡	機 械 室	115.7	倉 庫	73.6	暗 室	7.8
	そ の 他	42.1				

(2) 配置図 社会教育施設配置図（66頁）参照

第 6 章 吉川英治記念館事業

1 吉川英治記念館について

(1) 施設概要

ア 名称	青梅市吉川英治記念館
イ 所在地	青梅市柚木町1丁目101番地の1
ウ 敷地面積	5,073.38 m ²
エ 延床面積	1,264.29 m ²
オ 開館	令和2年9月
カ 建物の概要	

名称	面積 (m ²)	構造	備考
展示館	613.68	鉄筋コンクリート造瓦葺2階建て	
母屋	457.20	木造銅板・瓦葺3階建	
その他	193.41		土蔵、倉庫等

(2) 配置図 社会教育施設配置図(66頁)参照

2 記念館事業

(1) 展示事業

展示名	期間	内容
常設展示	4.1～3.31	吉川英治の生い立ちや作品について、直筆原稿、写真パネル、愛用の品々など収蔵資料を展示
春季展示「生誕130年 吉川英治の初期作品」	4.9～6.26	吉川英治が作家デビューするまでの経緯、『鳴門秘帖』や『神州天馬侠』など当時多くの読者を魅了した初期作品を紹介
夏季展示「吉川英治と市所蔵直筆資料展 PART II～青梅市吉川英治記念館×文豪とアルケミスト～」	7.2～9.25	人気ゲームとのタイアップ第2弾として、吉川英治をはじめ、彼と親交があった三島由紀夫、谷崎潤一郎など、市が所蔵する著名作家の直筆原稿や書簡等を紹介
秋季展示『三国志』の世界	10.1～12.18	吉川英治の『三国志』の直筆原稿や挿絵等を展示するとともに、人形劇や漫画、ゲームなど派生作品についても紹介
新春展示「吉川英治の『吉野村だより』」	1.4～3.26	吉川英治が執筆したコラム『吉野村だより』とその直筆原稿、当時の写真や関連資料により吉野村での英治の生活を紹介

(2) 普及事業

事業名	期間	内容
ミニ展示「吉川英治賞」	4.1～3.11	2022年吉川英治文学賞や吉川英治文学新人賞などの受賞者をパネル展示等で紹介
地域連携事業「五月人形展」	4.29～5.22	地元関係者の協力により、五月人形等を主屋で展示
地域連携事業「青梅夜具地展」	10.15～11.27	地元団体と連携し、青梅夜具地の反物や作品を主屋で展示
秋のライトアップと夜間開館	10.15～10.30	地元団体と連携し、主屋と庭園のライトアップと20時までの夜間開館を実施

事業名	期間	内容
ガイドボランティア養成講座	①11. 20 ②11. 27 ③12. 11 ④12. 18	敷地内の主屋や庭園等を案内するガイドボランティアを養成する講座を実施（4日間） 講師 ①記念館、②河東義之氏、③廣田春彦氏、④青梅ボランティア・市民活動センター
二十歳のお祝い企画	1. 4～1. 15	二十歳のお祝い企画として、対象者を観覧料無料、ポストカードをプレゼント
地域連携事業 「ひな人形展」	2. 18～3. 21	地元関係者の協力により、ひな人形や吊るしびな等を主屋で展示
谷津矢車氏講演会「歴史小説の現在・過去・未来」	3. 18	青梅市出身の歴史小説家・谷津矢車氏による歴史小説の成り立ちについて講演
美しき桜心の物語の語り会	3. 25	美しい多摩川フォーラム副会長の平野啓子氏による語り会を主屋で実施
ミニ展示 「吉川英治賞」	3. 11～3. 31	2023年吉川英治文学賞や吉川英治文学新人賞などの受賞者をパネル展示等で紹介

その他、畠山重忠パネル展示をはじめ、英治忌展示、土器展示、季節の花生け教室、落語会、講談会、音楽コンサート、読書案内、ウォーキングイベント、夏休み自由研究サポート、ハロウィン企画等を実施した。また、敷地内の庭園や主屋の案内を行う記念館ガイドボランティアを吉野梅郷梅まつり期間中に実施した。

(3) 貸出事業

資料名	貸出し先	期間	理由
「新・平家物語」原稿 1点	鎌倉文学館	4. 1～7. 26	展示のため
「尾崎士郎主宰 風信の会 同人たちと」(画像データ) 1点 「上野精養軒 宮田東峰ハーモニカ50周年記念会」(画像データ) 1点	大田区立尾崎士郎記念館	10. 1～1. 21	展示のため
「鳴門秘帖」複製原稿 2点	徳島県立文学書道館	12. 3～2. 16	展示のため

(4) 入館者数

(単位：人、日)

月	入館者数	開館日数	月	入館者数	開館日数	備考	
4	516	26	10	940	26	個人 6,968人 団体 970人 月平均 662人 1日平均 26人	
5	758	26	11	1,023	26		
6	420	26	12	427	24		
7	520	27	1	331	24		
8	548	26	2	554	24		
9	639	26	3	1,262	27		
合計							
			7,938				308

第 7 章 図 書 館 関 係 事 業

1 図書館について

中央図書館と9分館をもって、図書等資料の充実と利用者への資料提供の迅速化を図り、生涯学習の中核施設として図書館活動の推進に努めた。

年間を通じ、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、利用時間や事業参加人数の制限等、サービスを一部制限して開館した。

(1) 事業実施状況

(単位：回、人 ○は子ども読書活動推進事業)

内 容	場 所	期 日	回 数	講 師 等	延 参 加 人 数
枯れ木に花を咲かせましょう♪	成 木 図 書 館	4.1～4.10	1	—	134
中央図書館2階視聴覚コーナー資料展示	中 央 図 書 館	4.1～3.31	8	—	—
中央図書館2階ハンディキャップコーナー展示	中 央 図 書 館	4.1～3.31	5	—	—
中央図書館3階児童コーナー資料展示	中 央 図 書 館	4.1～3.31	39	—	—
中央図書館3階資料展示	中 央 図 書 館	4.1～3.31	56	—	—
中央図書館4階資料展示	中 央 図 書 館	4.1～3.31	14	—	—
分館資料展示	9 分 館	4.1～3.31	444	—	—
○おはなし会	梅郷市民センター	4.2、8.6、12.3	3	おはなしの会 ころりん	22
「野菜づくりのコツと裏ワザ」講座	中 央 図 書 館	4.3	1	吉 野 隆 祐	21
○ひとりじめおはなし会	中 央 図 書 館	4.3～3.19	66	図書館スタッフ	144
○絵本の森	中 央 図 書 館	4.9～3.11	12	おはなしの会 ころりん	89
○おはなしにちようピーナッツ	中 央 図 書 館	4.10～3.12	12	青梅おはなしの会	104
○おはなし会	今井市民センター	4.16～3.18	12	図書館ボランティア 図書館スタッフ	116
○おはなし会	青 梅 図 書 館	4.17～3.19	12	青梅おはなしの会	116
○おはなし会	中 央 図 書 館	4.23～3.25	13	図書館ボランティア 図書館スタッフ	134
こいのぼり祭り	成 木 図 書 館	4.23～5.8	1	—	152
○ちっちゃいこのおはなし会	中 央 図 書 館	4.24～3.26	12	図書館スタッフ	109
中央図書館映画会	中 央 図 書 館	4.24～3.26	12	—	371

内 容	場 所	期 日	回 数	講 師 等	延 参 加 人 数
本を借りた児童に「しおり」プレゼント	今 井 図 書 館	4.27～5.31	1	—	37
シールを貼ってオリジナルこいのぼりをつくろう！	長 淵 図 書 館	4.29～5.5	1	—	41
みんなでニッコリ こいのぼりを泳がせよう	大 門 図 書 館	4.29～5.5	1	—	46
○うめこの時間 (おはなし会)	梅郷市民センター	4.30～3.26	11	図書館スタッフ	42
ゴールデンウィーク こどもの日 本を読もう！楽しもう！	新 町 図 書 館	5.3～5.8	1	—	64
○記念館で読書案内 ～こどもの読書週間編～	吉川英治記念館	5.7	1	図書館スタッフ	9
○初級おはなし学習会	中 央 図 書 館	5.12～12.8	7	青梅おはなしの会	32
○釜の淵新緑祭 おはなし会	旧 宮 崎 家	5.15	1	図書館ボランティア 図書館スタッフ	41
四葉のクローバーを作ろう！	小 曾 木 図 書 館	5.18～6.19	1	—	238
この指とまれ！朗読会 (リーダーズあおうめと共催)	中 央 図 書 館	5.21	1	市民出演者 リーダーズあおうめ	13
○絵本のべんきょう会	中 央 図 書 館	5.27～3.10	6	伊藤美枝子	144
○施設見学 (市内小学校)	中央・青梅・大門 小曾木・成木 新町・今井図書館	6.6～2.3	15	図書館スタッフ	642
○おはなしの世界を楽しむ	中 央 図 書 館	6.11	1	青梅おはなしの会	34
しずくくじ引きで雨を楽しもう♪	成 木 図 書 館	6.11～6.28	1	—	59
○はじめての上映会	中 央 図 書 館	6.12	1	—	14
○出張おはなし会	若 草 小 学 校	6.13、 12.5、2.8	18	図書館ボランティア 図書館スタッフ	446
○職場体験 (市内中学校)	中 央 図 書 館	6.15～11.2	5	図書館スタッフ	9
新聞バッグで借りるお楽しみ袋	小 曾 木 図 書 館	6.25～6.29	1	—	4袋
星に願いを	今 井 図 書 館	7.1～7.7	1	—	33
○出張おはなし会	藤 橋 小 学 校	7.7、11.7、 11.8	7	図書館ボランティア 図書館スタッフ	176
夏休みスタッフおすすめ本を読みましょう	新 町 図 書 館	7.9～8.28	1	—	51

内 容	場 所	期 日	回 数	講 師 等	延 参 加 人 数
わくわく！さかなつり	今 井 図 書 館	7.10～8.14	1	—	212
本でビンゴ！2022	新 町 図 書 館	7.16～8.28	1	—	163
読書でガチャポン	青 梅 図 書 館	7.21～8.14	1	—	470
きみが考える、図書館 にいそうな妖怪	長 淵 図 書 館	7.21～8.14	1	—	96
君も塗り絵博士になれる かな	大 門 図 書 館	7.21～8.31	1	—	97
本をよんでビンゴ！	小 曾 木 図 書 館	7.21～8.31	1	—	27
○おはなし会 (小学生以上)	中 央 図 書 館	7.23～3.25	4	図書館ボランティア 図書館スタッフ	29
成木図書館夏祭り	成 木 図 書 館	7.23～8.31	1	—	174
夏休みお楽しみ袋	沢 井 図 書 館	7.25～8.8	1	—	25袋
○おはなし会	新町市民センター	7.26、12.23	2	図書館ボランティア	22
○中央図書館子ども映画会	中 央 図 書 館	7.31、 12.25、3.26	3	—	78
ポプラディアの王さま にちょうせん！	梅 郷 図 書 館	8.1～8.31	1	—	18
○夏休み親子見学会 中央図書館わくわく隊	中 央 図 書 館	8.2	1	図書館スタッフ	11
○10年研修 (市内中学校教諭)	中 央 図 書 館	8.2	1	図書館スタッフ	1
○工作教室「ポップアップ カードを作ろう」	中 央 図 書 館	8.5、8.6	2	吉 永 志 伸	19
好きな本をかりて動物 にエサをあげよう！	成 木 図 書 館	9.1～9.25	1	—	99
○出張おはなし会	河 辺 小 学 校	9.1～11.29	13	図書館ボランティア 図書館スタッフ	380
○出張おはなし会	第 二 小 学 校	9.6、11.28	4	図書館ボランティア 図書館スタッフ	58
図書館を秋でいっぱい にしよう	小 曾 木 図 書 館	10.1～11.14	1	—	275
とりっくおあとりと	今 井 図 書 館	10.1～10.31	1	—	30
ハロウィンバッグでか りる本	青 梅 図 書 館	10.19～ 10.28	1	—	72
今年もやるよ！ワクワク 秋まつり	成 木 図 書 館	10.19～ 11.20	1	—	102

内 容	場 所	期 日	回 数	講 師 等	延 参 加 人 数
読書週間しおりプレゼント	沢井図書館	10.27～ 11.13	1	—	118
秋祭りだよ！ビンゴゲーム	今井図書館	10.29～ 11.30	1	—	46
記念館で読書案内 ～秋の読書週間編～	吉川英治記念館	11.5	1	図書館スタッフ	15
フルーツ狩りをしよう！	長淵図書館	11.12、 11.13	1	—	50
ぬりえ配布	小曾木図書館	11.12、 11.13	1	—	17
成木図書館からの挑戦状	成木図書館	11.12、 11.13	1	—	24
かくれんぼ絵本	新町図書館	11.12、 11.13	1	—	30
手作りしおりプレゼント	梅郷図書館	11.13	1	—	10
朗読で楽しむ古典の世界 「今昔物語集と芥川龍之介」	中央図書館	11.20	1	リーダーズあおうめ	37
○施設見学 (市内中学校)	中央図書館	11.25	1	図書館スタッフ	6
青梅図書館のクリスマスツリーを飾ろう！	青梅図書館	12.1～12.25	1	—	150
クリスマスツリーを飾ろう	沢井図書館	12.1～12.25	1	—	134
クリスマスツリーを飾ろう	小曾木図書館	12.1～12.25	1	—	146
○大人のためのおはなし会	中央図書館	12.3	1	青梅おはなしの会	37
バリアフリー上映会	中央図書館	12.4	1	—	51
クリスマスイベント 書き出しで選ぶ「この一冊」	今井図書館	12.4～12.25	1	—	41
クリスマスイベント かくれんぼ絵本	今井図書館	12.4～12.25	1	—	27
クリスマスを楽しもう！	成木図書館	12.10～ 12.25	1	—	36
○うめこの時間 (ワークショップ)	梅郷図書館	12.18	1	図書館スタッフ	10
書き出しで選ぶ1冊	長淵図書館	12.21～ 12.28	1	—	39
新春おみくじ	中央図書館	1.4～1.31	1	—	32

内 容	場 所	期 日	回 数	講 師 等	延 参 加 人 数
おみくじ新着本	青 梅 図 書 館	1.4~1.7	1	—	50
新春おみくじ	梅 郷 図 書 館	1.4~1.6	1	—	20
新春お楽しみ袋	沢 井 図 書 館	1.4~1.18	1	—	20袋
本を借りてくじをひこう！	成 木 図 書 館	1.4~1.15	1	—	58
新春しおりプレゼント	新 町 図 書 館	1.4~1.8	1	—	124
新年運だめし!なぞなぞに答えて応募しよう!	今 井 図 書 館	1.4~1.31	1	—	68
本を借りておみくじをひこう!	長 淵 図 書 館	1.7、1.8	1	—	70
○施設見学(市内保育所)	小 曾 木 図 書 館	2.9	1	図書館スタッフ	24
ねこのしおりプレゼント	青 梅 図 書 館	2.22、2.23	1	—	112
今年もやるよ!ハラハラ、ドキドキわかさぎ釣り	成 木 図 書 館	2.25~3.12	1	—	42
帰ってきた、やっちゃん のジャズ講座	中 央 図 書 館	3.4	1	須崎八洲治	28
利用者懇談会	中 央 図 書 館	3.19	1	—	1
イースターエッグからうさぎをみつけよう!	成 木 図 書 館	3.25~3.31	1	—	71

(2) 対面朗読サービス

(単位：回、時間)

実 施 場 所	実 施 回 数	延 実 施 時 間 数	朗 読 者
中央図書館対面朗読室 ボランティア室	21回 (遠隔3回)	30時間 (遠隔3時間)	図 書 館 協 力 員 図 書 館 ス タ ッ フ

※ () 内は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、朗読者と利用者の部屋を分け、遠隔操作にて行った回数および実施時間の内数。

(3) 再利用図書の状態

(単位：冊)

区 分	再 利 用 冊 数	備 考
一 般 書	7,430	中央図書館の常設リサイクルコーナー
児 童 書	1,176	2.7 市内小・中学校、保育所等対象の再利用図書展示会(全館分)
	574	中央図書館の常設リサイクルコーナー
雑 誌	5,868	実施日は館により異なる
合 計	15,048	

(4) 乳幼児預かりサービス

(単位：回、人)

実施場所	実施回数	延利用者人数	備考
中央図書館おはなしの部屋	31回	84人	1回55分間2人まで

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため4月から6月まで中止。

(5) 団体貸出状況

(単位：回、冊)

図書館名 区分	中央図書館	青梅図書館	長淵図書館	大門図書館	梅郷図書館	沢井図書館	小曾木図書館	成木図書館	新町図書館	今井図書館	合計
貸出回数	330	35	92	16	11	6	25	70	56	48	689
貸出冊数	3,965	653	751	352	137	140	502	1,391	894	767	9,552

(6) 相互利用

平成26年10月1日から飯能市、平成27年10月1日から入間市との相互利用を開始した。

市町村名	登録者数(人)	貸出者数(人)			貸出冊・点数(冊・点)				
		一般	児童	計	一般書	児童書	雑誌	視聴覚等	計
飯能市	314 [40]	941	199	1,140	1,748	2,560	444	871	5,623
入間市	327 [29]	1,073	102	1,175	1,731	1,674	209	1,088	4,702
合計	641 [69]	2,014	301	2,315	3,479	4,234	653	1,959	10,325
青梅市全体	46,338 [2,804]	223,571	24,092	247,663	403,719	226,539	46,567	77,520	754,345
全体との比率(%)	1.38 [2.46]	0.90	1.25	0.93	0.86	1.87	1.40	2.53	1.37

※ 登録者数の[]内は、令和4年度新規登録者数

2 図書館運営協議会の開催

開催日	種別	主な内容
7.13	定例会	指定管理者による図書館の管理運営について、第6回青梅市図書館を使った調べる学習コンクールについて
11.16	定例会	指定管理者による図書館の管理運営について、第6回青梅市図書館を使った調べる学習コンクールの結果について、青梅市図書館の年末開館の試行について
3.14	定例会	指定管理者による図書館の管理運営について、令和5年度図書館事業計画について、青梅市図書館の休館について、「第5次青梅子ども読書活動推進計画」について

3 子ども読書活動推進事業

(1) 講演会・講座の実施状況

(単位：人)

内 容	期 日	講 師	会 場	参加人数
百科事典を使ってみよう	7. 16	図書館スタッフ	中央図書館	17
調べる学習相談窓口	7. 23～8. 7	図書館スタッフ	中央図書館	32
第6回青梅市図書館を使った調べる学習コンクール審査会	10. 20	—	中央図書館	6
子ども読書活動推進事業講演会 前沢明枝氏講演会	11. 19	前 沢 明 枝	中央図書館	47
学校図書館ボランティア修理講習会	11. 22	図書館スタッフ	河辺小学校	8
第6回青梅市図書館を使った調べる学習コンクール表彰式	12. 3	—	市 役 所	36

(2) ブックリストの配布

市内幼稚（児）園・保育所および小・中学校等にブックリストを配布した

(3) 図書館カードの作成

「子どもの読書活動推進」を図るため、全小学校の1年生に図書館カードの作成を行った。既登録者204人に今回の新規登録者560人を加え764人（1年生全体の92.7%）の児童が図書館カードを持つこととなり、図書館利用の促進を図ることができた。

(4) 学校と図書館の連携推進

第四次青梅市子ども読書活動推進計画により、学校図書館運営支援として、東小・中学校を除く小・中学校全校に学校司書を配置し、学校図書館の環境整備や児童・生徒の読書活動・学習支援等を行った。

また、小学校と図書館が連携して児童の読書活動を推進するため、学校連携推進重点校である河辺小学校の4年生を対象とした講演会開催、1、2年生に図書館見学、6年生に「中央図書館一日図書館長」の体験、団体貸出の推進を通じて読書活動の活性化を図った。

内 容	会 場	期 日	回数	講 師	参加人数
学校図書館運営支援	小・中学校	4. 11～3. 22	1, 460	図書館スタッフ	—
中央図書館一日図書館長 (学校連携推進重点校事業)	中央図書館	10. 22	1	図書館スタッフ	4
菊地玉雲氏講演会 講談「玉川上水物語」	河辺小学校	10. 24	1	菊 地 玉 雲	69

4 西多摩地域図書館広域利用

(1) 登録者数

(単位：人)

市町村名	区 分	青梅市から	福生市から	羽村市から	あきる野市から	瑞穂町から	日の出町から	檜原村から	奥多摩町から	合計
青梅市へ	一般		60	140	35	29	6	1	18	289
	児童		0	19	0	0	2	0	2	23
	計		60	159	35	29	8	1	20	312
福生市へ	一般	11		20	7	8	3	0	1	50
	児童	0		4	0	1	2	0	1	8
	計	11		24	7	9	5	0	2	58
羽村市へ	一般	117	107		23	70	2	0	3	322
	児童	18	14		4	4	0	0	0	40
	計	135	121		27	74	2	0	3	362
あきる野市へ	一般	40	36	12		7	66	4	1	166
	児童	6	40	8		5	33	2	2	96
	計	46	76	20		12	99	6	3	262
瑞穂町へ	一般	15	6	21	7		1	0	1	51
	児童	5	2	9	1		2	0	0	19
	計	20	8	30	8		3	0	1	70
日の出町へ	一般	4	3	1	11	1		0	0	20
	児童	0	0	2	4	0		0	0	6
	計	4	3	3	15	1		0	0	26
檜原村へ	一般	0	0	3	3	0	0		0	6
	児童	0	0	0	1	0	0		0	1
	計	0	0	3	4	0	0		0	7
奥多摩町へ	一般	8	0	1	0	0	0	0		9
	児童	2	0	1	0	0	0	0		3
	計	10	0	2	0	0	0	0		12
合計	一般	195	212	198	86	115	78	5	24	913
	児童	31	56	43	10	10	39	2	5	196
	計	226	268	241	96	125	117	7	29	1,109

※登録者数には、再登録者数を含む。

(2) 利用者数および貸出数（他市町村が青梅市を利用）

(単位：人、冊・点)

登録者区分	利用者数	貸 出 数					合 計
		一 般 書	児 童 書	雑 誌	視 聴 覚 等		
福 生 市	1,116	1,833	788	88	919	3,628	
羽 村 市	7,774	12,195	7,892	1,860	3,873	25,820	
あきる野市	968	1,074	390	59	1,172	2,695	
瑞 穂 町	1,234	2,446	590	306	809	4,151	
日 の 出 町	201	505	115	3	149	772	
奥 多 摩 町	1,129	1,504	1,409	192	446	3,551	
檜 原 村	1	0	0	0	3	3	
合 計	12,423	19,557	11,184	2,508	7,371	40,620	

5 図書館施設概要

(1) 本館

- ア 名称 青梅市中央図書館
- イ 所在地 青梅市河辺町10丁目8番地の1
河辺タウンビルB 2～4階
(公益財団法人東京都都市づくり公社所有)
- ウ 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造 6階建
- エ 延床面積 3,440.40㎡ (図書館部分)
- オ 開設日 平成20年3月1日
- カ 施設概要

	面積 (㎡)	概要
2階	1,164.71	エントランスホール(自動販売機、飲食コーナー、チャージスポット)、ブックポスト、観光ショールーム、情報検索、雑誌・新聞、音と映像、視聴ブース、ハンディキャップサービス、市民情報、対面朗読室、ボランティア室、多目的室、総合カウンター、作業室、その他
3階	1,193.37	一般開架、ティーンズ、児童・絵本、おはなしの部屋、屋外読書テラス、サービスカウンター、児童カウンター、その他
4階	1,082.32	調査・研究コーナー、個室閲覧ブース、屋外読書テラス、レファレンスカウンター、閉架書庫、事務室、その他

※ 上記のほか、青梅図書館2～4階に閉架書庫(420.0㎡)を置く。

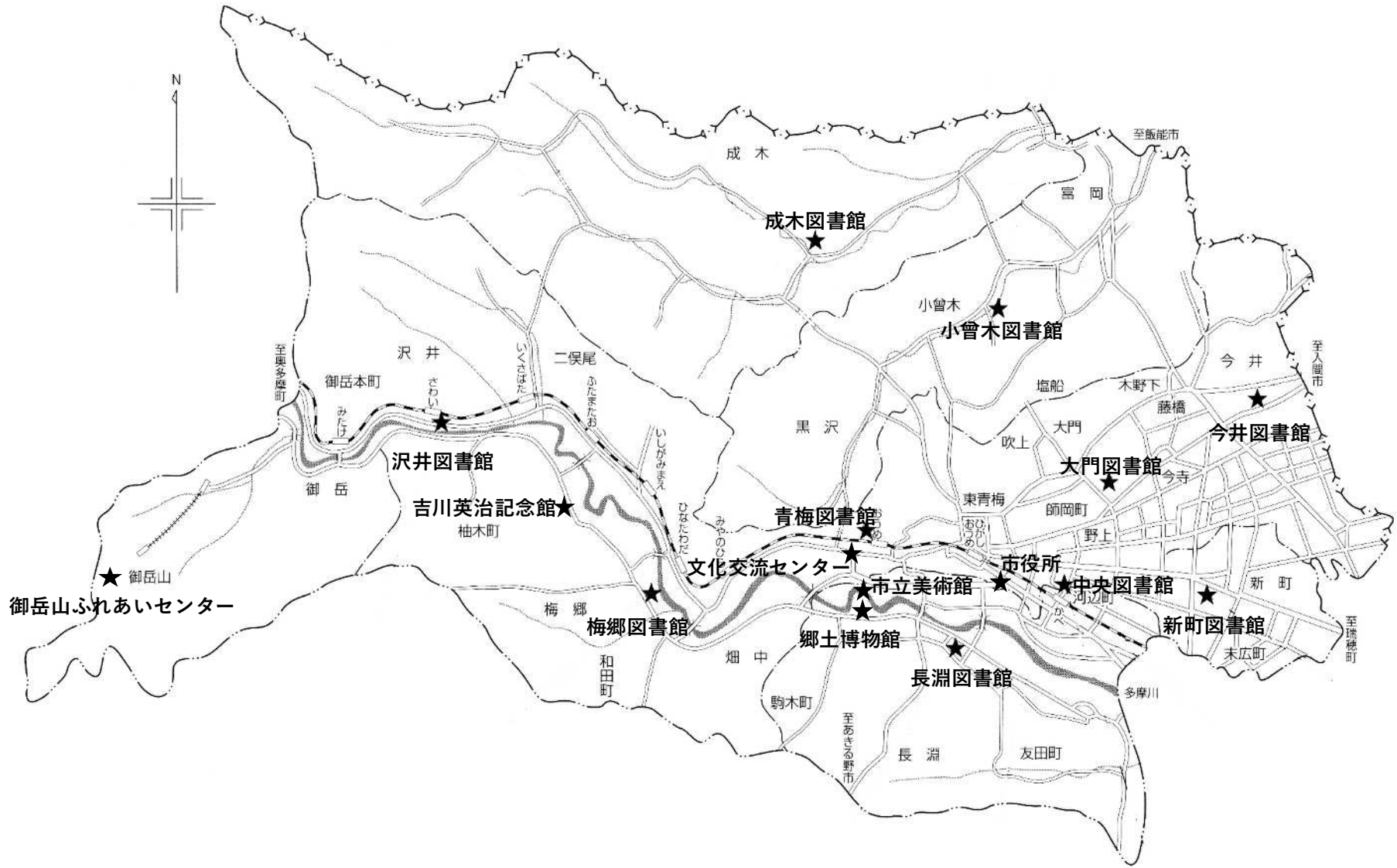
(2) 分館

(単位：㎡)

分館名	青梅図書館	長淵図書館	大門図書館	梅郷図書館	沢井図書館	小曾木図書館	成木図書館	新町図書館	今井図書館
所在地	仲町 268-9	長淵 6-492-1	大門 2-288	梅郷 3-749-1	沢井 2-682	小曾木 3-1656-1	成木 4-644	新町 4-17-1	今井 2-908-1
床面積	611.78	126.60	181.45	141.62	118.50	102.48	112.26	139.44	140.60

(3) 配置図 社会教育施設配置図(66頁)参照

社会教育施設配置図



6 図書館の利用状況

区分	人口 A	個人貸出者数		個人貸出数		蔵書数 C	蔵書 回転率 B/C	登録者		登録者 1人あたり 貸出数 B/D	図書館 購入費 E	人口1人あたり		
		貸出者数	1日 平均	貸出数 B	1日 平均			登録者数 D	登録率 D/A			貸出数 B/A	蔵書冊数 C/A	図書館購入費 E/A
青梅市全体	人 129,918	人 247,663	人 86.2	冊・点 755,123	冊・点 262.9	冊・点 627,280	回 1.2	人 46,338	% 35.7	冊・点 16.3	円 30,592,532	冊・点 5.81	冊・点 4.83	円 235
中央 (東青梅・河辺)	129,918 (30,262)	147,532	515.8	425,353	1,487.2	342,353	1.2	33,420	25.7 (110.4)	12.7	17,826,960	3.27 (14.06)	2.64 (11.31)	137 (589)
青梅	9,962	18,084	63.0	53,109	185.0	53,228	1.0	1,460	14.7	36.4	1,773,452	5.33	5.34	178
長淵	19,546	13,071	45.5	46,083	160.6	31,185	1.5	2,065	10.6	22.3	1,541,180	2.36	1.60	79
大門	21,477	12,918	45.0	41,464	144.5	34,316	1.2	2,117	9.9	19.6	1,391,172	1.93	1.60	65
梅郷	9,936	11,059	38.5	35,134	122.4	30,277	1.2	1,453	14.6	24.2	1,304,734	3.54	3.05	131
沢井	3,100	3,516	12.2	13,184	45.8	23,734	0.6	565	18.2	23.3	1,127,752	4.25	7.66	364
小曾木	3,155	4,317	15.0	15,501	53.8	23,100	0.7	413	13.1	37.5	1,140,699	4.91	7.32	362
成木	1,514	2,590	9.0	11,962	41.5	24,339	0.5	397	26.2	30.1	1,111,315	7.90	16.08	734
新町	20,370	25,158	87.7	81,545	284.1	35,793	2.3	3,105	15.2	26.3	2,196,540	4.00	1.76	108
今井	10,596	9,418	32.8	31,788	110.8	28,955	1.1	1,343	12.7	23.7	1,178,728	3.00	2.73	111

注 (1) 人口は、令和5年3月末時点の統計数に対して、最も有効な数値として「令和5年4月1日現在町丁別世帯と人口」を使用した。

(2) 中央の人口は特定の地域を限定していないため、市全体の人口と同数とした。

(3) 貸出数には雑誌および視聴覚資料等を含む。

(4) 中央図書館所蔵数は、図書、視聴覚資料、ハンディキャップ資料である。

区分		図書館名	中央図書館	青梅図書館	長淵図書館	大門図書館	梅郷図書館	沢井図書館	小曾木図書館	成木図書館	新町図書館	今井図書館	計	前年度
図書購入費		(円)	17,826,960	1,773,452	1,541,180	1,391,172	1,304,734	1,127,752	1,140,699	1,111,315	2,196,540	1,178,728	30,592,532	29,265,290
雑誌購入費		(円)	3,420,492	227,991	178,719	131,367	124,121	164,348	108,362	75,225	196,672	168,420	4,795,717	5,054,901
図 書	受入冊数 (冊)	購 入	(1,624) 6,542	(428) 1,185	(428) 887	(446) 1,009	(300) 776	(259) 733	(270) 799	(344) 750	(558) 1,244	(245) 755	(4,902) 14,680	(4,773) 14,730
		寄 贈	(165) 592	(8) 91	(10) 237	(5) 106	(7) 119	(4) 62	(5) 65	(4) 61	(9) 89	(3) 80	(220) 1,502	(192) 1,394
		計	7,134	1,276	1,124	1,115	895	795	864	811	1,333	835	16,182	16,124
		移管冊数 (冊)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	廃棄冊数 (冊)	(381) 3,744	(115) 653	(180) 393	(252) 920	(264) 671	(203) 617	(608) 1,103	(156) 457	(400) 1,032	(303) 1,096	(2,862) 10,686	(2,910) 10,628	
	蔵書冊数 (冊)	(61,667) 320,620	(17,695) 53,228	(13,192) 31,185	(13,056) 34,316	(12,265) 30,277	(11,734) 23,734	(10,493) 23,100	(11,027) 24,339	(16,774) 35,793	(12,023) 28,955	(179,926) 605,547	(177,666) 600,051	
	視聴覚資料等	(冊・点)	21,733										21,733	19,596
利用者数 (人)	一 般	136,009	16,205	11,318	11,390	9,841	3,012	3,658	1,989	21,504	8,645	223,571	205,917	
	児 童	11,523	1,879	1,753	1,528	1,218	504	659	601	3,654	773	24,092	23,758	
	計	147,532	18,084	13,071	12,918	11,059	3,516	4,317	2,590	25,158	9,418	247,663	229,675	
貸出数 (冊・点)	一 般	218,933	34,512	25,324	25,597	19,580	5,815	8,852	3,671	41,105	20,330	403,719	377,375	
	児 童	103,571	15,628	17,714	13,795	12,416	6,017	5,732	7,784	34,678	9,204	226,539	219,704	
	雑 誌	29,879	2,387	2,390	1,496	2,724	1,040	856	408	3,528	1,859	46,567	45,870	
	視聴覚等	72,970	582	655	576	414	312	61	99	2,234	395	78,298	76,617	
	計	425,353	53,109	46,083	41,464	35,134	13,184	15,501	11,962	81,545	31,788	755,123	719,566	
登録者数 (人)	一 般	1,466 (28,485)	108 (1,294)	53 (1,878)	53 (1,970)	41 (1,318)	11 (515)	16 (380)	16 (340)	105 (2,825)	48 (1,232)	1,917 (40,237)	1,630 (42,217)	
	児 童	733 (4,935)	29 (166)	14 (187)	26 (147)	10 (135)	5 (50)	5 (33)	15 (57)	36 (280)	14 (111)	887 (6,101)	875 (6,297)	
	計	2,199 (33,420)	137 (1,460)	67 (2,065)	79 (2,117)	51 (1,453)	16 (565)	21 (413)	31 (397)	141 (3,105)	62 (1,343)	2,804 (46,338)	2,505 (48,514)	
開館日数		(日)	330	330	330	330	330	331	332	331	330	332	3,306	3,179
1日平均	利用者数 (人)	一 般	412.2	49.1	34.3	34.5	29.8	9.1	11.0	6.0	65.1	26.1	67.6	64.8
		児 童	34.9	5.7	5.3	4.6	3.7	1.5	2.0	1.8	11.1	2.3	7.3	7.4
		計	447.1	54.8	39.6	39.1	33.5	10.6	13.0	7.8	76.2	28.4	74.9	72.2
	利用数 (冊・点)	一 般	663.4	104.6	76.7	77.6	59.3	17.6	26.6	11.1	124.5	61.2	122.1	118.7
		児 童	313.9	47.3	53.7	41.8	37.6	18.2	17.3	23.5	105.1	27.7	68.5	69.1
		雑 誌	90.5	7.2	7.2	4.5	8.3	3.1	2.6	1.2	10.7	5.6	14.1	14.4
		視聴覚等	221.1	1.8	2.0	1.7	1.3	0.9	0.2	0.3	6.8	1.2	23.7	24.1
	計	1,288.9	160.9	139.6	125.6	106.5	39.8	46.7	36.1	247.1	95.7	228.4	226.3	
	登録者数 (人)	一 般	4.5	0.3	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.3	0.2	0.6	0.5
		児 童	2.2	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2	0.3
計		6.7	0.4	0.2	0.2	0.2	0.0	0.1	0.1	0.4	0.2	0.8	0.8	

- 注 (1) 受入、廃棄、蔵書冊数の()内は、児童書数で内数。
(2) 登録者数は本年度受付数、()内は、令和5年3月31日現在の累計数。
(3) 登録者数の1日平均は、本年度受付分に対する数値。
(4) 中央図書館の「視聴覚等」は、視聴覚資料、ハンディキャップ資料である。

第 8 章 社会教育関係委員名簿

1 教育委員

職名	氏名	任命年月日	任期年月日	備考
教育長	橋本雅幸	令和3年10月13日	令和6年10月12日	第1期
職務代理者	大野容義	平成30年11月2日	令和4年11月1日	退任
〃	稲葉恭子	令和2年10月1日	令和6年9月30日	第2期
委員	百合陽子	令和元年10月1日	令和5年9月30日	第1期
〃	杉本洋	令和3年12月21日	令和7年12月20日	第1期
〃	徳長邦彦	令和4年11月2日	令和8年11月1日	就任

2 社会教育委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考
刀禰浩子	学校教育	5.13退任	鈴木齊太郎	社会教育	5.14就任
富田聖和		5.14就任	金子万里子	家庭教育	5.13退任
神山敬章			鶴岡則子		5.14就任
市川幸次		横手多喜子	5.13退任		
栗原郁夫		白井順子	5.14就任		
○吉野康一	社会教育		◎宮野良一	学識経験者	
山川貴弘		5.13退任	園田陽子		

任期：令和4年5月14日～令和6年5月13日 ◎は議長、○は副議長

3 青少年委員

氏名	選出学校区	備考	氏名	選出学校区	備考
◎内田紀弘	第一小		岡部真紀	河辺小	
○広瀬善規	第二小		阿多洋和	新町小	
○増田透	第三小		唐津直樹	霞台小	
豊田奨	第四小		石川富士男	友田小	
梅本亘	第五小		中山誠一	今井小	
渡辺淳一	第六小		古賀勝	若草小	
小野寺洋智	第七小		山口佳子	藤橋小	
白井敬子	成木小		樋口篤史	吹上小	

任期：令和3年5月1日～令和5年4月30日 ◎は会長、○は副会長

4 生涯学習推進市民会議委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考
藤野唯基	学識経験者	9.30退任	國生隆利	団体代表者	5.6退任
坂田真吾		10.1就任	和山満雄		5.7就任
森田哲生			吉田わかな		6.23退任
石田和仁			高田哲也		6.24就任
秋山拓実			沖山恵子		
栗原郁夫			大野友江		9.30退任
菅原敏郎	団体代表者	9.30退任	須崎八州治		10.1就任
平廣子		10.1就任	東直也		
小椋勝宏			相澤麻由美		
○増子ますみ			◎林義巳		

任期：令和4年10月1日～令和6年9月30日 ◎は議長、○は副議長

5 放課後子ども教室推進事業運営委員会委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考
風間みどり	学識経験者		○星野綾子	実施コーディネーター	
鎌田博志	学校関係者	7.9退任	藤森光一	学童クラブ関係者	
樋口純子		7.10就任	本間朝陽		
金子万里子	社会教育者関係	7.9退任	遠藤康弘	行政関係者	
鶴岡則子		7.10就任	山田浩之		
◎樋口篤史			加藤博之		
青柳公美	児童福祉関係者		/		
加藤博行	地域住民関係者	7.9退任			
嶋田稔		7.10就任			
木水健	PTA関係者	7.9退任			
福田広樹		7.10就任			

任期：令和3年7月10日～令和5年7月9日 ◎は委員長、○は副委員長

6 文化財保護審議会委員

氏名	備考	氏名	備考
◎ 稲葉政満		棚橋正道	
○ 山本勉		久保田正寿	
馬場憲一		西村慎太郎	
沖川伸夫		三戸久美子	
保坂一房		守田正志	

任期：令和4年4月1日～令和6年3月31日 ◎は会長、○は副会長

7 文化財保護指導員連絡協議会

氏名	備考	氏名	備考
三好ゆき江		荒井悦子	
◎ 神森正		塚田直樹	
○ 小島みどり		沖祐昭	
東山啓子		黒田耕	
御手洗望		儘田菜つ美	

任期：令和4年1月1日～令和5年12月31日

◎は連絡協議会会長、○は連絡協議会副会長

8 美術館運営委員会委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考
妹尾達実	学校教育関係		◎橋本善八	知識経験者	
横手多喜子	社会教育関係	7.1退任	○佐川美智子		
白井順子		7.2就任	塩野麻理		
栗原郁夫		10.6退任			
牧野光代		10.7就任			
持田晃子					

任期：令和4年10月7日～令和6年10月6日 ◎は委員長、○は副委員長

9 図書館運営協議会委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考
実森浩明	学校教育関係者	5.18退任	原島夕紀	社会教育関係者	7.1退任
塚田直樹		5.19就任	猪俣太郎		7.2就任
○平岡直実				清水久恵	
園田陽子	社会教育関係者		中島健士郎	知識経験者	
川名政子			◎沖川伸夫		

任期：令和3年10月1日～令和5年9月30日 ◎は会長、○は副会長

10 学校施設開放運営委員会委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考
◎田中明子	中学校校長		大兼明日香	小学校体育教諭	
○神尾健彦	小学校校長		早川博	文化関係団体	
佐藤信雄	中学校副校長		小椋勝宏	体育関係団体	
伊藤貴紀	小学校副校長		島田規啓		
豊泉麻子	中学校音楽教諭		山谷敏之	P T A 役員	

任期：令和4年4月1日～令和5年3月31日 ◎は委員長、○は副委員長

11 青梅市文化交流センター運営協議会委員

氏名	選出区分	備考	氏名	選出区分	備考
◎橋本研	利用団体の代表		山本佳紹	自治会の代表	
本田正実			守谷憲太郎		
斉藤裕子			○川崎真也子	生涯学習コーディネーター	
中林彰子			鬼塚昌和	公募の市民	
増子ますみ	生涯学習推進市民会議の代表		/		

任期：令和3年4月1日～令和5年3月31日 ◎は委員長、○は副委員長

青梅市の社会教育 令和4年度版

発行 青梅市教育委員会

編集 青梅市教育委員会 生涯学習部 社会教育課

〒198-8701

青梅市東青梅1丁目11番地の1

TEL 0428-22-1111 (代表)

青
梅
市
の
社
会
教
育

令
和
4
年
度
版

青
梅
市
教
育
委
員
会